



ライオンズクラブ国際協会331-B地区

2023-2024年度

# 第4回キャビネット会議



日 時：2024年4月6日(土)

場 所：サフィールホテル稚内

稚内市開運町1丁目2-2

TEL 0162-23-8111



2023-2024 ライオンズクラブ国際協会 331-B地区

稚内キャビネット

国際会長 L.パティ・ヒル

国際テーマ

**【We Serve (われわれは奉仕する)】**

国際会長メッセージ

**【Changing The World  
(世界を変える)】**

地区ガバナー L.藤原 回向

地区ガバナースローガン

**【環境保護は子孫に対する奉仕となる】**

地区ガバナーモットー

**【明るい未来を信じて We Serve!】**

◆稚内キャビネットピンバッチ ◆ コンセプト



ガバナースローガンにもある様に環境保護という観点から美しい自然と環境を大切にするというコンセプトのもと、国立公園であり自然豊かな『利尻富士』と稚内の代表的な花である『はまなす』をピンバッチに用いています。

## 第4回 キャビネット会議 プログラム

会場:サフィールホテル稚内

総合受付	12:30～	2F	ホワイエ
名誉顧問会議	13:00～13:30	2F	潮騒
長期計画リサーチ委員会会議	13:40～14:30	2F	潮騒
マーケティング・IT委員会	4月5日(金) 14:10～15:40		キャビネット 事務局
地区マーケティング・YCE、 YCE委員会	13:40～14:30	2F	鳳
地区コーディネーター、ゾーン・チェ アパーソン事前会議、GMA会議	14:40～16:10	2F	鳳
* キャビネット会議 *		2F	鳳
	16:20～17:50		
* 懇親会 *		2F	鳳
	18:00～20:00		

## 第4回キャビネット会議次第

司会：運営委員長 L. 蓑谷 克行

1 開会宣言並びに開会ゴング	地区ガバナー L. 藤原 回向	
2 出席者の紹介	運営委員長 L. 蓑谷 克行	
3 物故会員への黙祷	運営委員長 L. 蓑谷 克行	5頁
4 地区ガバナー挨拶	地区ガバナー L. 藤原 回向	
5 副地区ガバナー挨拶	第一副地区ガバナー L. 伊東 隆志 第二副地区ガバナー L. 大島 尚久	
6 キャビネット報告		
報告第1号：複合地区各種会議	CAB幹事 L. 中野 修吾	7頁
報告第2号：サバンナ基本集計表 ・LCIF献金実施状況一覧	CAB幹事 L. 中野 修吾	46頁
7 審議事項		
議長就任	地区ガバナー L. 藤原 回向	
議案第1号：地区ガバナーの選出について	CAB幹事 L. 中野 修吾	50頁
議案第2号：第71回地区年次大会開催地並びにホストクラブ	CAB幹事 L. 中野 修吾	50頁
議案第3号：第一副地区ガバナーの選出について	CAB幹事 L. 中野 修吾	50頁
議案第4号：第二副地区ガバナーの選出について	CAB幹事 L. 中野 修吾	51頁
議案第5号：複合地区大会費改定(案)について	CAB幹事 L. 中野 修吾	51頁
提出議案：地区内クラブより提出議案	CAB幹事 L. 中野 修吾	52頁

8 地区GLTコーディネーター報告	L. 広瀬 寛人
9 地区GMTコーディネーター報告	L. 矢吹 定夫
10 地区GSTコーディネーター報告	L. 岡田 清一
11 地区スペシャルティクラブFWTコーディネーター報告	L. 大津 幸三
12 地区GETコーディネーター報告	L. 柳澤 豊
13 地区LCIFコーディネーター報告	L. 藤原 回向
14 各委員会報告	
長期計画リサーチ委員会	委員長 L. 阿部 昭
地区大会委員会	委員長 L. 岡谷 繁勝
会則委員会	委員長 L. 本間 修三
国際大会・国際協調委員会	委員長 L. 村山 聡
薬物乱用防止・献血献眼委員会	委員長 L. 山森 清志
YCE委員会	委員長 L. 小林 孝彦
マーケティング・IT委員会	委員長 L. 高田 政志
平和ポスターコンテスト委員会	委員長 L. 石橋 美由 亀
レオ・青少年育成委員会 アラート委員会	委員長 L. 浅野 敬一
15 質疑及びその他	
参考資料 : SWOT分析資料	54頁
16 閉会宣言並びに閉会ゴング	地区ガバナー L. 藤原 回向

## 第4回キャビネット会議出席者名簿

役 職	氏 名	出欠	役 職	氏 名	出欠	役 職	氏 名	出欠
地区ガバナー 地区LCIFコーディネーター	L. 藤原 回向	○	長期計画リサーチ委員	L. 二宮 雄一	○	第1R地区 マーケティング・YCE委員 第1R第2Zゾーン委員	L. 青木 秀史	×
元国際理事 元ガバナー名譽顧問	L. 安井 克之	×	長期計画リサーチ委員	L. 木村 宏幸	○	第3R地区 マーケティング・YCE委員	L. 田邊 宏	×
第一副地区ガバナー 地区LCIF副コーディネーター 長期計画リサーチ副委員長 地区会計監査委員	L. 伊東 隆志	○	地区大会委員長	L. 岡谷 繁勝	○	第4R地区 マーケティング・YCE委員	L. 遠藤 隆男	○
第二副地区ガバナー 長期計画リサーチ福委員長	L. 大島 尚久	○	地区大会副委員長	L. 寺本 幸男	○	第5R地区 マーケティング・YCE委員	L. 奥山 壽雄	○
地区名譽顧問会議長	L. 中谷 宣巨	○	地区大会事務局長	L. 藤田 隆明	×	【ゾーン委員】		
第2R地区名譽顧問会議	L. 佐藤 信雄	○	地区大会事務局長次長	L. 石井 和雄	×	第1R第1Zゾーン委員	L. 小野寺 かずみ	○
第3R地区名譽顧問会議	L. 香川 俊雄	×	会則 委員長	L. 本間 修三	×	第2R第1Zゾーン委員	L. 山田 智士	○
第4R地区名譽顧問会議	L. 井ノ浦 義明	○	国際大会・国際協調 委員長	L. 村山 聡	○	第2R第2Zゾーン委員	L. 加藤 祐一	×
前ガバナー 元ガバナー名譽顧問 長期計画リサーチ委員長	L. 阿部 昭	○	国際大会・国際協調 副委員長	L. 明石 欽弥	○	第3R第1Zゾーン委員	L. 大和田 収	○
キャビネット幹事(全般) 長期計画リサーチ委員	L. 中野 修吾	○	薬物乱用防止・献血献血 委員長	L. 山森 清志	×	第3R第2Zゾーン委員	L. 船迫 郷子	○
キャビネット会計(広報)	L. 梅村 俊範	○	薬物乱用防止・献血献血 副委員長	L. 櫻井 信之	×	第4R第1Zゾーン委員	L. 佐藤 光一	○
キャビネット副会計(財務)	L. 三上 聖二	○	レオ・青少年育成委員長 アラート委員長	L. 浅野 敬一	○	第4R第2Zゾーン委員	L. 太田 晃司	○
地区GLTコーディネーター 第2R地区 マーケティング・YCE委員	L. 広瀬 寛人	○	レオ・青少年育成副委員長 アラート副委員長	L. 佐藤 豪一	○	第4R第3Zゾーン委員	L. 森田 正志	○
地区GMT コーディネーター	L. 矢吹 定夫	○	レオ・青少年育成委員 アラート委員	L. 清野 芳明	×	第5R第1Zゾーン委員	L. 梅原 友一	○
地区GST コーディネーター	L. 岡田 清一	×	YCE 委員長	L. 小林 孝彦	○	第5R第2Zゾーン委員	L. 林 健二	○
地区SPC・FWT コーディネーター	L. 大津 幸二	○	YCE 副委員長	L. 工藤 正幸	×			
地区GET コーディネーター	L. 柳澤 豊	○	マーケティング・IT 委員長	L. 高田 政志	○			
地区GLT 副コーディネーター	L. 佐藤 健治	○	マーケティング・IT 副委員長	L. 栃木 潤子	○			
地区GMT 副コーディネーター	L. 猫本 浩和	×	マーケティング・IT 委員	L. 山田 庸徳	×	【オブザーバー】 (北見)	L. 山田 兼士	○
地区GST 副コーディネーター	L. 重綱 博美	○	平和ポスター コンテスト委員長	L. 石橋 美由亀	×	(猿払)	L. 森 豊昭	○
地区SPC・FWT 副コーディネーター	L. 大森 一道	○	運営委員長(副幹事)	L. 藁谷 克行	○			
地区GET 副コーディネーター	L. 宮下 泰裕	○	運営副委員長(副幹事)	L. 石内 隆則	○			
第1R第1Z ゾーン・チェアパーソン	L. 成田 勝利	×	運営副委員長(副幹事)	L. 佐藤 堅司	○	事務局長	L. 池田 恵美子	○
第1R第2Z ゾーン・チェアパーソン	L. 杉本 隆英	○	運営委員(副幹事)	L. 鳥取 広志	○	事務局員	L. 大久保 雅明	○
第2R第1Z ゾーン・チェアパーソン	L. 松田 誠一	○	運営委員(副幹事)	L. 柳浦 政春	○	事務局員	L. 小野寺 理恵	○
第2R第2Z ゾーン・チェアパーソン	L. 立崎 光儀	○	運営委員(副幹事)	L. 加賀 浩一	×	事務局員	L. 山口 真希	×
第3R第1Z ゾーン・チェアパーソン	L. 方川 一郎	○	運営委員(副幹事)	L. 永井 由美子	×			
第3R第2Z ゾーン・チェアパーソン	L. 高橋 好志子	×	運営委員(副幹事)	L. 庄司 明弘	×			
第4R第1Z ゾーン・チェアパーソン	L. 萩谷 泰夫	○	地区会計監査委員	L. 澤田 礼二	○			
第4R第2Z ゾーン・チェアパーソン	L. 喜多 武彦	×	地区会計監査委員	L. 森山 憲治	×			
第4R第3Z ゾーン・チェアパーソン	L. 徳田 晃一	○						
第5R第1Z ゾーン・チェアパーソン	L. 奥山 久美子	○						
第5R第2Z ゾーン・チェアパーソン	L. 佐藤 正明	○						

26

17

16

出席者

59 名

# 物 故 会 員

(2023年10月21日～2024年3月20日迄の物故者名)

## 獅子の魂は永遠に

獅子の肉体は滅びても培われた魂は滅びず、永く世に貢献する。北の大地で志を半ばにしてご逝去された、我が同士の雄姿を忘れることは決してなく、獅子の栄誉は永遠に銘記されていく。故人に寄せる想いは去りがたく331-B地区会員一同謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

2023年11月3日	L. <sup>さかい</sup> 酒井 <sup>そうた</sup> 莊多	83歳	(網走桂LC)
2023年12月18日	L. <sup>きはら</sup> 木原 <sup>こういちろう</sup> 向一朗	52歳	(旭川ナナカマドLC)
2024年1月25日	L. <sup>みやべ</sup> 宮部 <sup>たかひろ</sup> 隆弘	93歳	(音更LC)
2024年2月2日	L. <sup>たかはし</sup> 高橋 <sup>よしたろう</sup> 吉多郎	87歳	(音更LC)
2024年3月5日	L. <sup>わかばやし</sup> 若林 <sup>てるひこ</sup> 輝彦	76歳	(美幌LC)
2024年3月7日	L. <sup>みやした</sup> 宮下 <sup>かずとし</sup> 和年	93歳	(音更LC)

# 報 告 事 項



(報告第1号)

## 複合地区各種会議

● 一般社団法人日本ライオンズ

◆ 国際大会委員会 (Web) 議事要録

(2024. 1. 18) 社日本ライオンズ「第5回国際大会委員会 (Web)」議事要録 8頁

◆ 会則委員会WEB会議議事録

(2024. 1. 22) 社日本ライオンズ第6回会則委員長 (WEB) 議事要録 11頁

(2024. 2. 22) 社日本ライオンズ第7回会則委員長 (WEB) 議事要録 18頁

◆ アラート委員会 議事録

(2023. 11. 13) 第3回アラート委員会 (ZOOM併用) 議事要録 24頁

(2024. 1. 22) 第4回アラート全体会議 (ZOOM併用) 議事要録 33頁

● 2023-2024年度ライオン誌日本語版委員会

(2024. 2. 7) 2023-2024年度 第7回会議 (ZOOM) 37頁

(2024. 3. 4) 2023-2024年度 第8回会議 (ZOOM) 42頁

2023-2024  
一般社団法人 日本ライオンズ  
第5回国際大会委員会(Web) 議事要録

作成者 : MD334 大山 恭範

日時 : 2024年1月18日(木) 13:30-16:00

出席者

国際理事

2022-24 国際理事/LCI 大会委員会	鶴嶋 浩二 (札幌中島 LC)	【欠席】
2023-25 国際理事	城阪 勝喜 (大阪港 LC)	【欠席】
2023-25 国際理事	濱野 雅司 (岩槻 LC)	

一般社団法人日本ライオンズ

理事長	田名部智之 (八戸 LC)	
専務理事 / 国際大会委員会(補)	増澤 義治 (諏訪湖 LC)	【遅れて参加】

国際大会委員会

委員長	吉村 弘吉 (和歌山 LC)	
副委員長/副理事長	松浦 淳一 (岩見沢はまなす LC)	【欠席】

各複合地区国際大会委員

MD330	中嶋 文夫 (東京文夫 LC)	【代理出席】
MD331	本所 光男 (室蘭東 LC)	
MD332	村上 孝 (水沢中央 LC)	
MD333	岡野 良男 (土浦環 LC)	
MD334	大山 恭範 (一宮 LC)	
MD335	江草 長史 (和田山 LC)	
MD336	徳永 修 (尾道 LC)	
MD337	曾山 純廣 (霧島みらい LC)	

公認 TC 代表

MD335 公認 TC JTB 大阪第二事業部	沼間 章作	
-------------------------	-------	--

オブザーバー/各複合地区公認 TC

MD333-E 国際大会委員長	車田 一恵 (霞ヶ浦 LC)	
MD333-E 国際大会副委員長	藤野 将寛 (霞ヶ浦 LC)	
MD330 公認 TC ウィントラベル 東京営業支店	大西 智久	【欠席】
MD331 公認 TC JTB 北海道事業部	中牟田憲一	
MD332 公認 TC 名鉄観光サービス 盛岡支店	川村 勲	【代理出席】
MD333 公認 TC ウィントラベル 代表取締役	加藤 勉	
MD334 公認 TC JTB 名古屋事業部	丹羽 祐太	
MD336 公認 TC 近畿日本ツーリスト 広島支店	金子愛梨佳	
MD33.7 公認 TC JTB 福岡支店	園田 花奈	

## 議 事

### 1. 開会宣言

吉村委員長より開会宣言と盛りだくさんの協議内容のため、会議のスムーズな進行に協力をお願いがなされた。

### 2. 挨拶

◇濱野雅司国際理事より以下の挨拶があった。

今年もよろしくお祈いします。メルボルン国際大会まであと半年となり3月のバンクーバー理事会では最新の情報があると思う。メルボルンでの国際理事会の案内がすでに届いており半年といっても身近に感じるので参加者に案内しながら多くの方にご参加いただきたい。

また、冬の国際大会であること、現時点では国際理事候補者がいないなど通常の国際大会とは異なるので、パレード・ジャパンレセプションなど費用の点も含めて皆さんで知恵を出し合っていたら幸いです。本日はどうぞよろしくお祈いします。

◇田名部智之一般社団法人日本ライオンズ理事長より以下の挨拶があった。

会議冒頭は移動中の参加であったため音声がつながらず議事進行途中の挨拶となりましたことお詫びいたします。内容は拝聴しておりましたが、今年度は議長とガバナーの連絡を上手くとることを目指しております。メルボルン国際大会参加について今年度は複合地区単位で動くということを確認しておりますので、複合地区委員長としてご出席の委員の皆さんには是非とも議長とガバナー、複合地区と地区の橋渡しをお願いしたい。

### 3. 出席者確認及び進行について

吉村委員長より出席者リストに基づき各複合地区の委員長とオブザーバーで出席の 333-E 地区大会委員長・副委員長の紹介、各複合地区公認のツアーコーディネーターの紹介があり、ツアーコーディネーターは、MD330TC が欠席、MD332TC は体調不良により上司である川村氏の出席を確認した。

### 4. 議事録作成人の指名、および提出締切日の確認

大山恭範 MD334 国際大会委員長が指名される。1月31日までに提出のこと。

### 5. 第106回メルボルン国際大会【2024年6月21日(金)–25日(火)】

#### A. 公認 TC 報告

① 公認 TC リストとして最新版の名簿が配布された……………A

② ホテル予約室数 ……………B

幹事エージェント(株式会社 JTB 大阪支店) 沼間氏より以下の報告があった。

○オセアル調整事務局のご協力の基に日本全体でシングル・ツイン合わせて560室を国際協会に要望し、デポジットも支払い済み。ただし日本として希望していた4つのホテルでは確保できず、他の二つのホテルも追加しての確保となっている。また、現時点ではホテルごとの部屋数も確認できていない。

部屋数が判明し次第 TC 会議を開催、各複合地区のホテル配分を行いたい。

③ ——吉村委員長からの補足……………追加資料 1

・1月18日付けでオセアル調整事務局から日本ライオンズに入った情報では全部で8つのホテルに分散して利用することになる。

・いずれもシャトルバスが利用可能であり、またトラムの駅も近いので、特に専用バスをチャーターする必要はないと思われる。

・沼間氏には早急に各複合地区配分を決めるようお願いしたい。できれば MD 単位で振り分けられたい。(各複合地区委員長と TC とよく相談しておく)

○MD330 は準地区ごとに公認を指定しているので、今回の予約室数に関しても国際協会との間で混乱が生じた。日本ライオンズ国際大会委員会または MD330 として態勢を整えていただきたい。

——吉村委員長から、MD330 中嶋副委員長に今年度のメルボルン大会は複合地区単位でまとも動くことを前提としているので MD330 におかれても複合地区指定のウイントラベル(MD333 も指定)を中心にまとめてもらえるよう要請があった。

- ④ 各 MD 登録状況 ……………C および追加資料 2  
各複合地区から早期登録者数の報告があり 8 複合地区合計で 786 名。この数字から日本全体で 800 名の参加が見込まれる。準地区ごと登録者数および参加予定者数を 1 月 25 日までに日本ライオンズに報告する。

## B. パレード・代議員会

- ① パレード参加体制……………D  
参加方法(日本で一本化するのか、MD 毎とするのか)とユニフォーム、参加者対象者について各複合地区の考えを発表、濱野国際理事、田名部理事長の意見もお聞きしながら検討の結果、以下の通りとすることとした。

——日本で一本化して参加する。

・基本的には希望者全員に参加していただくが、複合地区内の参加希望者が多すぎて統制がとれなくなると判断された場合の対応は各複合地区に委ねる。

- ② パレード頒布品

——ユニフォームは防寒着の上からでも着用可能なベストにする。

・交換ピンは 2 種類のデザインとする。缶バッジも含め検討する。

・ライオンズ公認業者に連絡しコンペとする。

・コンペ実施は、次回会議にて (※2024 年 2 月 21 日(水))

- ③ 代議員会開催、取り組み……………E

MD331 本所委員、MD332 村上委員からの提案のジャパンレセプション実施要領に基づき代議員会のみとするのか、レセプションとするかを含めて検討した。

——6 月 22 日(土)17:00 – 18:00、500 人規模のジャパンレセプション(立食)として開催することとして、オセアル調整事務局を通して国際協会に会場の申し込みをする。その結果をもって次回委員会で改めて内容の検討をする。

## 6. 次回、開催日程

2024 年 2 月 21 日(水)13:30-16:00 の開催とする。

公認 TC 代表 JTB には出席いただくが、ほか MD 公認 TC についても、改めてお声がけするとして念のためご予約空けておいていただければありがたいです

## 7. 閉 会

※閉会后ウイントラベル加藤氏よりメルボルンに関する情報提供があった。次回詳しく聞くこととした。

以 上

(2023-24 年度)

## 第 6 回会則委員会会議 WEB 議事要録

- 日 時：2024 年 1 月 22 日（月）10：00～12：00
- 会 場：WEB 会議
- 出席者：

### ◎一般社団法人日本ライオンズ

- ・ 理事長  
田名部 智之（八戸 LC）
- ・ 委員長（MD333 前協議会議長）  
松本 宰史（南房総 LC）
- ・ 副委員長（MD336 協議会議長）  
中谷 豊重（岸和田 LC）
- ・ 専務理事  
増澤 義治（諏訪湖 LC）

### ◎各複合地区会則委員

- ・ 330 複合地区  
細川 孝雄（東京赤坂 LC）
- ・ 331 複合地区  
馬場 哲也（函館東 LC）
- ・ 332 複合地区  
荒川 友成（郡山西 LC）
- ・ 333 複合地区  
岩沼 忠何（千葉ネオ LC）
- ・ 334 複合地区  
野村 善弘（岡崎竜城 LC）
- ・ 335 複合地区  
小林 寛（姫路中央 LC）
- ・ 336 複合地区  
松岡 諒（福山久松 LC）
- ・ 337 複合地区  
高野 正勝（佐賀葉がくれ LC）

### ① 松本委員長より開会宣言

- ・ 能登半島地震について  
地震の被害へ合われた方へのお見舞いと、亡くなられた方へのご冥福が伝えられた。

### ② 一般社団法人日本ライオンズ理事長ご挨拶 田名部部理事長

- ・ 1/1 から被災地に対して日本ライオンズとして会議を重ね準備している。  
被災地から要望・要請があった場合、直ちに動けるよう準備している。
- ・ 会則委員会について、今年度プロトコルなど、昨年までできなかったこと、

中途半端になっていることを今期詰めている。

- ・全国の複合地区を回り、周囲からライオンズの組織や権限が分からない指摘があり。  
松本委員長には国際協会、LCIF、一般社団法人日本ライオンズ、GAT の分かりやすい図を作成していただいた。皆さんにも確認の上、全国に発信していきたい。
- ・会則委員会は今期相当に進んでいる、それに対し感謝申し上げたい。

◎増澤専務理事より

- ・ライオンズ必携の件で委員長から議案が提案される、
- ・各複合地区年次大会でも承認頂かなければいけないが、出来上がったものを各複合地区でも皆様に良く周知いただきたい

◎松本委員長

- ・議事録作成人の指名。荒川委員と高野委員が指名される。

1. 前回議事録確認

ライオンズ必携第 61 版改定のスケジュール、発行部数について審議を行った。

- (1) 1 月末には印刷所発送予定。注文部数は、予想より少なく 53,550 部の受注在庫分 1,450 部合わせ 55,000 部印刷注文を行う。  
注文のない分は日本ライオンズ在庫 1,450 部で対応。

(2) 内容変更確認の件

禁忌事項についてライオンズ必携に掲載する。  
後のコンプライアンス委員会に規定案に関連する議論を後ほどお願いしたい。

- (3) 国際理事候補者資格審査委員会規則について、  
複合地区年次大会での承認必要の件準備を進めたい。

- (4) ライオンズ必携の価格について 250 円で決定した。

- (5) ローカルプロトコルも理事会で認められた。

2. 議案

◎ライオンズ必携第 61 版改定について

- ・発行部数および頒布価格について報告。今回は 55000 部発行、頒布単価 250 円で決定
- ・ライオンズ必携 改定内容勉強会について  
三役研修会におけるビデオメッセージを 3 月末までには取りまとめる。  
今回大幅な規則改定がありこれをどう伝えるかが重要。

(細川委員)

年次大会の議案提出には事前にガバナー協議会へ提出が必要である。

内容が多岐に渡るため、実際の改定の場合と具体的な事例との差異を明確にしてほしい。

(馬場委員)

第3回キャビネット会議が1/27にある。

ライオンズ必携第61版改定の大きな変更箇所について、資料作成し説明予定。

第4回キャビネット会議では大まかな説明予定。

(松本委員長)

複合地区年次大会ではキャビネット、ガバナー、議長などは議事規則についての理解が重要だが規則自体を知らない場合がある。理解しないまま年次大会に臨み、問題が出てしまうこともある、作成中のビデオメッセージにも入れて具体例と共に伝えたい。

議事規則は近年必携に入っていなかったものを復活させた、各地区で十分周知したい。大会議案は事前提出が基本であり、議案を深く理解の上審議する。

(荒川委員)

キャビネット会議が2/2にあるので概要説明予定。次期3役の勉強会でも必携の内容を周知したい。

(岩沼委員)

地区内では必携規則に対する意識が低い。

地区会則委員長と共に考えていく、複合は各委員長にも伝えていく。

(野村委員)

地域の会則委員長には伝えている、末端会員までは周知できていない。

キャビネット会議で会則委員長がゾーンチェアパーソンにも内容を詳しく説明し、各ゾーン会議でも会則委員長に出席していただき説明いただく。

(松本委員長)

段取りをゾーンチェアパーソンにまで落とし込むのは素晴らしい。

各地区キャビネットを通してどう落とし込むか。ガバナーの協力を求めてやっていただきたい

(小林委員)

キャビネット会議が2/21にある。

ライオンズ必携第61版改定の主な改定は箇所各地区委員長に送っている。

地区委員長に会員から、「案」が取れたものが作成されるかどうか、質問がある。

必携が必要な人とそうでない人がいる。変更内容について周知が必要な方(第1・第2副地区ガバナー・ZCなど)に周知を徹底することが必要だと思われる。

(松本委員長)

主な改定箇所については一般会員に関係ある部分は少ない。

キャビネット運営に関わる人へ向け周知が必要。

(松岡委員)

今回は一般会員に影響がある改定内容が多いわけではなく、キャビネットの運営に関する内容が大きく変更になっている。

各地区のキャビネットにて勉強会が必要と考える。

(高野委員)

必携を見たことがないという会員もいる。会則改定の件について会員が認識できるよう、ガバナーに徹底して、各委員会に指導をお願いしたい。

(松本委員長)

キャビネット会議・クラブ3役会議で改正についてお伝えいただきたい。

#### ◎国際理事候補者資格審査委員会規定の改正に伴う複合地区年次大会への共通提案について

(松本委員長)

複合地区年次大会の議案として提出をお願いする。今回は事後決議という形になる。決議後大会閉会時から効力を生ずると必携には記載した。

(小林委員)

複合地区年次大会での提案決議事項について、各複合地区委員長が議長に対し議案として提案する事になるのか。

(松本委員長)

議長提案議案になる、説明は複合地区会則委員長に行っていただく。

(松岡委員)

複合地区会則についても同様に年次大会での決議が必要である。説明のための資料は統一したほうがよいのではないか。

(松本委員長)

資料については統一が望ましいと考えられる。各地区での国際理事資格審査規則改定の新旧対比表と共に複合地区、会則改定分も一緒に会則委員長が取りまとめたい。

#### ◎コンプライアンス委員会について（委員会ガイドライン案について）

(松本委員長)

コンプライアンスによって日本ライオンズが全ての事項に対し審議を行うのではなく、ガイドライン案を元に各MD・地区にてコンプライアンス規定が設置される事が望ましい

(細川委員長)

当地区でもコンプライアンスが必要な状況であると議論があった。  
日本ライオンズで委員会を定め各地区へ落とししていくことに賛成。

(松本委員長)

日本ライオンズがコンプライアンスを作成し各地区に落とし込む。  
地区の中のことまでは審議できない。それぞれの地区・複合でコンプライアンス委員を設け実行していく事が良い。

(馬場委員)

各地区でバラバラにコンプライアンスを決めたら日本ライオンズが決める意味がなくなる。ルールは統一したほうがよいのでは。

(松本委員長)

基本的なルールは国際理事会方針書に記載がある。そこで解決できない部分をどうするか？そのために必要であると思う。皆さんの意見を聞きたい。



(荒川委員)

日本ライオンズが地区での紛争に関与することは好ましくない。

(岩沼委員)

紛争はクラブ間・人間性の問題・責任である。社団法人とクラブでは考え・運営方法が違う。

日本ライオンズのコンプライアンスはクラブと一線を引いて設置したほうがよい。

(野村委員)

クラブや複合地区で解決できない場合、日本ライオンズのコンプライアンス委員会で最終的に判断するのがよいのでは。

(小林委員)

本来教養とマナーがあればクラブでも問題は起きない、日本ライオンズが基本コンプライアンスを作り、各地区に落とし込み、問題発生時には委員会とは別に利害関係の無い人で都度、第三者委員会を作り、審議するなどどうか。問題解決には情報共有が必要。ひな形を作成することには賛成。

(松岡委員)

紛争は少なからず起きている、解決策としてのコンプライアンス委員会設置だけではなく、しっかり機能するものが必要、日本ライオンズでコンプライアンス委員会を作るのは懐疑的。

処分の権限がない中で責任だけ負うことになってしまうのではないか。

やるのであるなら日本ライオンズの指針の上に各複合地区、準地区の中にコンプライアンス委員会を作り対応する。

本来ライオンズ国際協会の中に紛争処理手続きがあり、ここが機能していれば裁判になるまでいかなと思う。作るのであれば複合地区、準地区のコンプライアンス委員会のサポートとして紛争処理手続きが機能していくように手助けをしていくという位置づけがよいのではないか。

現在のコンプライアンス規定案について、

- ・4条5項の窓口設置についてはここを頼っていろいろな紛争が持ち込まれる可能性があり、権限のない日本ライオンズではかえって混乱を招く可能性がある。

- ・7・8条は会員向け・事務員向けが混じっており、分けたほうが良いのでは。

(松本委員長)

ご指摘の通り、基本的には複合・地区内で処理をできる形が良いと思う。

必ずしも紛争が国際理事会でされるかというところでもなく、コンプライアンス委員会でどう処理していくか。

(高野委員)

本来なら規定を作らないほうが良いとは思いますが、日本ライオンズがまったく関与しないわけにもいかないと思う。

(中谷副委員長)

調停の役割をするのがコンプライアンス委員会。委員会にて禁忌事項やルールのまとめを作り、問題については地区→MD→日本ライオンズの流れが良いのでは。どういう委員会にするか、ルールや流れについてははっきりと決めておきたい。

(田名部理事長)

コンプライアンス委員会には罰する権限・責任はない。

現在は準地区・複合・日本ライオンズに統一された規定はなく、禁忌事項があるだけでも抑止力になり、モラル・ルールを再認識することに繋がる。

全国共通の指針としてもらい、問題発生時に DG.CC が罰則ではなく、戒めとして使えるようにもしたい。

コンプライアンス委員会が罰するところではないことは規定の中で明らかにする。

また会員のみではなく、複合地区事務局員の行動で禁忌事項に触れる事柄が見られるため、指導ができるような規定があればよいと思う。現在は社団事務局員の意識改革に取り組んでいる。その次は複合・準地区の事務局の改善が必要になると考えているが、日本ライオンズが成功例を示すことで改革・改善に至っていくと思う。

なんらかの決めごとは日本ライオンズ、複合地区、準地区まで筋が通るといふ、見通しのよさがあつたほうが良い。

(増澤専務理事)

コンプライアンス委員会を設置しなければいけないというのは恥ずかしいことである。問題に立ち入り調停するようなことは日本ライオンズではできない、クラブや地区の中で解決していただき、罰則が目的ではなく、活動できる指針を簡素化し禁忌事項を中心に明確にする。

事務局員も会員と同様の気持ちでまとまっていくことが望ましい。

新たに委員会を作るのではなく、管理委員会などの中に指針として規約を置く。

(松本委員長)

規定についてまだは精査が必要。日本ライオンズの中で維持管理するのではなく、複合地区もしくは準地区の中でコンプライアンス規定を設けてもらい、審議できる流れを作るべきか。

(馬場委員)

禁忌事項内に、コンプライアンスについて詳しく記載するという意見に賛成。

(荒川委員)

複合地区と準地区は国際協会から認められている組織。

日本ライオンズがコンプライアンスを作るのは難しく、関与すべきではない。

問題は複合、準地区で解決する。

すべての複合・地区でコンプライアンス委員会を作るべきでなく、問題が起こった時に作ればよい。

(小林委員)

コンプライアンス委員会では係争が起こっても解決できない、どちら側も正しいからである。理解の上でどうするか、両方とも認めて落とし込むことも重要である。

(松岡委員)

コンプライアンス委員会を作ることは反対。

作ったとしても会員やクラブに遵守を周知徹底させること、目的事項や道徳、禁止事項を発信し、コンプライアンス遵守のための体制作りを行い、複合地区、準地区で問題が発生した場合にコンプライアンス委員会の設立を促す程度に留める。

地区でコンプライアンス委員会を立ち上げた場合、地区の有力者が集まり、委員会が力を持ちすぎること懸念がある、委員会は常設せず問題解決できたら解散するほうが良い。

(細川委員)

日本ライオンズにコンプライアンス委員会があっても紛争解決は難しい。  
設置せず、今までなかった条文を書面に残し影響を与えるくらいがよい。

(岩沼委員)

複合や日本ライオンズが関わると余計難しい問題になる場合もある。クラブ・地区で解決すべき。

(松本委員長)

複合地区、準地区向けに、今回の意見を元に作り直したコンプライアンス規定案を一つの見本として作るのが良いのではと思う。意見を諮りたい。

賛否評決 賛成：9票 反対：3票

結果を受け、次回までに複合・準地区にて対応できる規定案を作りたい。

(田名部理事長)

禁忌事項も含めた指針ができればよいと思う。

(小林委員)

複合地区で委員会を開きコンプライアンスの説明をする、問題や提案も含めて話し合い、複合地区で作成し委員長に上げる、その内容を委員長がまとめる方法はどうか。

(松本委員長)

日本ライオンズで作成したたたき台を元に、複合地区などの意見をうかがう流れで考えたい。  
次回までにメールで案を送る。

・次回第7回会則委員会の日程

2月22日(木) 10:00~12:00 WEB開催

以上

議事録作成人：

332 複合地区会則委員長 荒川 友成

337 複合地区会則委員長 高野 正勝

(2023-2024年度)  
第7回会則委員会(WEB)議事要録

◎日時：2024年2月22日(木) 10:00~12:00

◎システム：Zoomシステム

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ：	○各複合地区会則委員長：
理事長 田名部智之(八戸LC) 【欠席】	330複合地区会則委員長 細川孝雄(東京赤坂LC)
委員長 (MD333協議会議長) 松本宰史(南房総LC)	331複合地区会則委員長 馬場哲也(函館東LC)
副委員長(MD335協議会議長) 中谷豊重(岸和田LC)	332複合地区会則委員長 荒川友成(郡山西LC)
専務理事 増澤義治(諏訪湖LC)	333複合地区会則委員長 岩沼忠伺(千葉ネオLC)
	334複合地区会則委員長 野村善弘(岡崎竜城LC)
	335複合地区会則委員長 小林 寛(姫路中央LC)
	336複合地区会則委員長 松岡 諒(福山久松LC)
	337複合地区会則委員長 高野正勝(佐賀葉がくれLC)

1.開会宣言

松本会則委員長より開会宣言。

2.一般社団法人日本ライオンズ理事長 田名部理事長欠席の為  
増澤専務理事より挨拶。

3.出席者の確認

別紙資料に基づき確認。

4.議事録作成人の指名

MD331馬場委員長・MD335小林委員長が指名された。

5.議案：

①前回議事録の確認

a. ライオンズ必携第61版改定について

必携に対して知って頂く為にもビデオメッセージなどにてPRをしている。

b. コンプライアンス委員会のガイドラインを、本日再度協議する。

②年次大会への共通提案事項について

(松本委員長)

・ライオンズ必携第61版改訂箇所の確認。

承認決議事項として、複合地区会則・国際理事候補者資格審査委員会規則がある。

ページ数が相当増えているので、新旧対照表にて説明。

近日中に説明用資料を委員会メンバー並びに各MD事務局にメール送信する予定。

MD330より指摘があったライオンズ必携61版内容の改正が必要な箇所(2点)

について説明。

年次大会においては修正を加えていただいた上での承認決議をお願いしたい。

(細川委員)

修正箇所の説明。第2章については数字のミスであるが、第1章については変えてはならない部分であるとの説明。

③コンプライアンス委員会について

・ガイドライン案について

(松本委員長)

コンプライアンス委員会がなぜ必要なのか？

将来的に問題が発生した場合、どこの機関で処理するのか。

現在、基本的に対応する規則がないので、早めの対応のためにもこのような委員会が必要である。

コンプライアンス規定(案)の説明

第3章コンプライアンスへの取り組み

第5条(役員および構成員の義務)

(9)と(10)はいただいた意見を受け、削除する。

(松岡委員)

コンプライアンス規定は、MDの役員に対しての縛りですか？

(松本委員長)

今回は、事務局は除いて、役員と構成員に絞り込んでいます。

(小林委員)

コンプライアンス委員会は常設ですか？

(松本委員長)

常設ではありません、問題が発生したら、事前に決めていたコンプライアンス委員会

を立ち上げ対応する。

私の所属している333-Cでは、運営委員会で対応しています。各地区では？

(松岡委員)

336では、対応する委員会は特になく、キャビネット事務局の運営委員会はありません。

(荒川委員)

332では組織はなく、もし問題があれば改革委員会・地区においては名誉顧問会が対応すると思います。

(松本委員長)

改革委員会のような委員会のメンバーが兼務というのもよいと思います。

(小林委員)

委員会の人選についても考えなければいけない。判断基準が人の心の中にあり、役職に関係なく地区において人望のある人物が望まれる。

(馬場委員)

331では、長期計画委員会と名誉顧問会により、調整され対応が来ておりますので、コンプライアンス委員会は必要なのでしょうか？

(松本委員長)

健全な運営をされている地区もあるが他地区では、現実的に問題が起こっていますので準備として必要で、規定があることにより予防にもなると思う。

(松岡委員)

各MD・地区に降ろすと、コンプライアンス委員会の規定・運営が様々な方向になると思いますが、それでいいのでしょうか？

(松本委員長)

各所で考えは違うと思いますがそれでよろしいかと思います。

規定は作りますが、あくまで見本にすぎません。

必要が無ければ、それでもよろしいかと思います。

(松岡委員)

MDに持ち帰って検討しますが、委員会メンバーをどう選別するか？

第三者を入れないといけないような気がしますし、何をもってコンプライアンス違反なのか、禁忌事項違反・刑事事件・セクハラなど、人それぞれ基準が変わります、悪用するメンバーも出てくるような気がします。

人選と、何をもって違反とするかは明確にしたほうが良いと思います。

(松本委員長)

第5条にハラスメントについて、第7条には禁忌事項の記載がありますが、どのように指摘をしていくか。

そのような観点から、今回第4章、第13条（懲戒の種類）1～3を入れました。

できれば注意で終わればよいですが、特に大きな懲罰に値する3、の降格は、ガバナー協議会もしくはキャビネット会議へ上程され、三分の二の賛成で可決されます。

(細川委員)

330では問題を起こした会員が国際本部に提訴されました。回答は、道徳的に卑劣な犯罪行為には当たらないという回答でした。誰が判断するのか？複雑な問題の場合コンプライアンス委員会でも結論は出せないと思います。

(松本委員長)

同じようなケース発生を想定し、ガバナー一人では、解決出来ない所以組織で対応する、コンプライアンス委員会で方向性を出し、場合によっては審議結果をガバナー協議会、キャビネット会議へ上程し、それでも解決ができない場合には国際理事会へ訴える。問題発生時にすぐに国際本部へ紛争調停処理をするのではなく、ワンクッションを置く為にも必要。問題がエスカレートすることを防ぎ早期解決をするためにも、将来の問題発生時を考えつくっておくことに意味があると思う。

(小林委員)

そもそもメンバーの私利私欲が問題。情けなく、普通のメンバーなら退会するので。色々な方がいるので、怪文書が出たり、将来的に問題が発生したりする可能性があり、寂しい気持ちではあるが前もって作っておくのはよいと思う。

(岩沼委員)

悲しい現実です。

(高野委員)

当地区でも、一年半前に問題が発生しましたが、ガバナー中心に顧問会・クラブ会長等で何とか解決しました。MD・準地区、問題がおこった場所それぞれで解決する方法しかないし、今後入会メンバーの選出も重要であると思います。

(荒川委員)

332では過去に事件はありません、複合では改革委員会が議長やガバナー、会則委員長など16名で組織していますので、そちらで対応すると思います。

コンプライアンスについては、最近はセクハラなど問題発生しています。

コンプライアンス規定は、今後の叩き台として提示されたら良いと思います。

(馬場委員)

たたき台というのはあってもよいと思います。

(松本委員長)

それでは、こちらを見本とし、取り扱いについてはそれぞれMD/地区の判断で議論して頂く事と致します。

日本ライオンズとしては将来に向けて規約を作り上げることが大切であると思います。

(増澤専務理事)

この規約が頻繁に使われてはいけないので、一つの線引きとして作成し問題発生時に検討する、一つの基準・指針とするために持っておくということによりよいと思う。

悪用されては本末転倒になるので注意が必要ですし、今後、入会審査をきちんと行うことなど重要になると思う。

(松本委員長)

コンプライアンス規定について、MD年次大会で取り上げて頂きたい。

第5条と第6条を入れ替える。第3章第5条(9)と(10)削除します。

道徳綱領については心構えであるが遵守すべきとして掲載する。

(小林委員)

当MDでは外国人のみのクラブ、男性のみのクラブ、女性のみのクラブがあり、今後、人種差別・性別差別等々発生する要因があるのでは？と懸念する。

コンプライアンス委員会でどの様に対処できるのか？大変難しいのではと感じる。

(松本委員長)

人種差別問題等も世界的に重要なポイントです、今後外国人との関わりは大いにあると思いますので、将来的に向けてコンプライアンス委員会が必要になると思います。

(中谷副委員長)

改廃は、ガバナー協議会またはキャビネット会議となっているが、道徳的・禁忌事項的問題なので年次大会の承認をいただくほうがよいのでは。

(松本委員長)

MD年次大会で決議して頂きたい。準地区は間に合わないと思いますので次年度でよろしいかと思います。

(松岡委員)

対象がMD役員・構成員のみであれば、内規扱いでよろしいかと思います。

(松本委員長)

内規扱いにするかを含め、扱いについては、各議長、ガバナー等々中心としての議論で、各MD・地区にお任せ致します。日本ライオンズからの指針を示し、取り上げるかどうかについては柔軟にお考えいただければと思います。

(増澤専務)

対象は役員・構成員ですか？自分はメンバー全員が対象だと思っておりましてので、役員・構成員へ限定するのであれば、意味がないのでは。

(松本委員長)

最終的には、全メンバーに必要かと思います。会員へ向けには役員必携・ライオンズ必携に道德綱領や禁忌事項が盛り込まれております。コンプライアンス規約についてはまずは役員・構成員と考えております。

(松岡委員)

MD・準地区・クラブごとに規定を設ける想定でしたので、内規的なものだと考えておりましたが全員を対象とするものになるのでしょうか。

(増澤専務)

ライオンズとして活動する、一個人として生活する上での一つの指針として作成するイメージでした。

(松岡委員)

指針とする場合は、懲戒規定は作るの難しいのでは。

(松本委員長)

大きなクラブの場合は規約が必要になるかもしれませんので、その際の見本となれば良いと思います。

(増澤専務)

ライオンズ国際会則における理事会方針書のような位置づけで、会則委員会の中に規約を置いておく形ではいかがでしょうか。

(松岡委員)

いろいろな選択肢を示しながら、複合で議論してみます。

(松本委員長)

最終的にどこで審議が行われ、どう結果を伝えるのか、指針を有効活用いただくために委員会設置と併せて規定が必要だと思う。

指針として取りまとめる方向で進め、次回委員会でも議論したいと思います。

第3回ガバナー協議会が終了している複合もあるとは思いますが出来れば今年度で、MDで決議して頂きたい。

(増澤専務)

焦らないで、複合では今期無理しなくても次年度でいいのでは。MDに持ち帰り議論して頂き、会則委員会にフィードバックして頂いて更に詰めて、次年度に結果を出す方がいいと思います。

(松本委員長) 来年度でも問題ないと思います。一度MDで審議をお願い頂ければと思います。

(荒川委員)

2月26日、日本ライオンズの理事会がある様なので、協議して頂いて会則委員会に下ろして頂きたいと思います。

#### ④ライオンズ必携第61版 修正箇所と対応について

(松岡委員)

第3条の、メンバーの件はどの様に対処致しますか？訂正を周知する必要があると思います。

(松本委員長)

各MDに、訂正文をメール送信致します。

訂正箇所についても年次大会へ取り上げていただきたい。

WEB版を日本ライオンズHPへ掲載の際には修正したものを掲載します。

(増澤専務)

再度全体を確認し、修正文を各MD事務局に送信して、必要な分を使って頂く事にし



たらいかがでしょうか。

6.次回開催予定について

第7回会則委員会 3月14日 木曜日 10:00~12:00 【ZOOM開催】

7.閉会挨拶

会則委員会副委員長 中谷 豊重

以上

2024年2月22日

議事録作成人

MD331会則委員長 馬場哲也

MD335会則委員長 小林 寛

議事録署名人

会則委員長 松本宰史

### 第3回アラート委員会 議事要録

- ◇日時：2023年11月13日（月）14:30-16:30 場所：岡山県岡山市+ZOOMシステム  
 ◇司会：若林 純也（水戸葵LC）

#### ◇ 開会宣言

2023-2024年度 アラート委員会委員長 池原 堅

今日は2024年2月24日に予定している全国アラートフォーラム西日本の開催について、及び、アラート委員会運営規則改定に関する事項等を中心に協議を行いたい。フォーラムの開催に向け中心となって動いていただいている佐々木統括リーダー、木村東日本統括リーダー、藤井西日本統括リーダーには感謝申し上げる。

#### ◇ 一般社団法人日本ライオンズ理事長ご挨拶

一般社団法人日本ライオンズ理事長 田名部 智之

オセアルフォーラムを始め複合地区、準地区のイベント等忙しい中、委員会に参加いただき感謝を申し上げます。諸事情でWEBでの参加となったが、現地では様々な確認が行われていると思うが、しっかりとアラートフォーラムの成功に向けて準備を進めて欲しい。又、アラート委員会ルールの改訂について検討が進んでいる様だが、上半期のうちに決めて理事会を通し、しっかりとしたルールの下で活動できるようお願いしたい。

#### ◇出席者の確認

##### 出席者リスト

##### 一般社団法人日本ライオンズ

理事長	田名部 智之	(八戸LC)	【WEB】
専務理事	増澤 義治	(諏訪湖LC)	【WEB】
アラート委員会委員長	池原 堅	(福山久松LC)	【WEB】
アラート委員会副委員長	新里 正雄	(沖縄LC)	

##### 日本ライオンズ アラートチーム

統括リーダー	佐々木 健太	(大阪若獅子LC)
東日本統括リーダー	木村 知紀	(青森ZERO LC)
西日本統括リーダー	藤井 信英	(岡山みらいLC)

##### アラート委員

MD330委員	増田 正明	(東京田無LC)	【WEB】
MD331委員	浅野 敬一	(北見中央LC)	【WEB】
MD332委員	木川田 明弘	(仙台大砂LC)	【欠席】
MD333委員	中田 泰範	(新潟東LC)	【WEB】
MD334委員	堀岡 昭夫	(金沢東LC)	
MD335委員	堀口 清隆	(神戸みなとLC)	【欠席】
MD336委員	西尾 慎一	(鳥取LC)	
MD337委員	高野 裕子	(熊本平成LC)	【WEB】

##### 委員長補佐・MD333アラート班長

若林 純也	(水戸葵LC)
-------	---------

##### オブザーバー参加

アラート委員会MD336班長	畑中 孝之	(岡山みらいLC)
MD336アラート副班長	織田 秀樹	(東予LC)
MD336アラート副班長	井上 哲孝	(岡山みらいLC)
MD336アラート副班長	廿日出 一晴	(呉安浦LC)
MD336アラート副班長	植田 節雄	(浜田LC)
MD336アラート副委員長	出射 隆文	(高松フェニックスLC)
336Bアラート委員	眞治 憲之	(倉敷天領LC)
336Cアラート委員	田部眞 一郎	(庄原LC)
336Dアラート委員	中川 和昌	(岩国錦LC)

◇ 議事録作成人の指名

MD336委員 西尾 慎一を指名

◇ 前回議事録の確認

10月26日開催の臨時アラート委員会の議事録（MD336堀岡委員作成）について、増澤専務理事より、池原委員長に承認を頂いているので、これから田名部理事長に回付し、承認が取れ次第各委員に配信する予定であると報告された。

◇ 議案

① アラートフォーラム（岡山）開催について

池原委員長は、10月26日開催の臨時アラート委員会於いて、2月24日開催予定の全国アラートフォーラムin岡山の組織図について承認を頂き、これを日本ライオンズの執行理事会に報告し承認を得たとして佐々木統括リーダーに組織図について説明を求めた。

※注：その後開催日を2月3日開催に変更。

佐々木統括リーダー

組織図を画面共有し、池原委員長を大会委員長とする主催委員会（計画）、MD336の西尾委員を実行委員長（開催地大会委員長としてMD336澤議長を検討）とする開催地委員会（主管）について説明した。尚、今後相談の上、主管委員会組織に田名部理事長の役職を加える事としたいとした。

池原委員長

組織について日本ライオンズ執行理事会で承認を頂いてはいるが、個人的な意見として組織に田名部理事長、澤議長を加えることに加え、開催地委員会に藤井西日本統括リーダーを加えるべきと思うが意見を聞きたいと質問。

藤井西日本統括リーダー

私としては総務部会に名前があり、役職には拘っていない。実体として自分が中心となり実行する事なので問題はない。しいて言えば、アドバイザー補佐に加える事で良いと思うと答えた。

池原委員長

問題がなければ今期はこれで良いと思うが、来期や再来期、今後同じスタンスで行うとなった場合、開催地以外の関係者も構成図に入れるように、同じような問題が起きないようにお願いしたいと要望した。

藤井西日本統括リーダー

ご指摘に従い、アドバイザー補佐としてやらせていただくと述べた。又、澤議長

の役職について、大会委員長とした場合は上に委員長が2人となるので、大会顧問とさせていただきたいと提案した。

以上の発言を受け司会のL.若林は、会議参加の各委員に組織図の変更について賛否を諮り、全員異議無くこれを承認した。

次に、池原委員長は本日行ったアラートフォーラム開催会場の視察結果について説明を求めた。

#### **藤井西日本統括リーダー**

本日、フォーラム開催予定会場である岡山市民会館を視察した。会場へのアクセスはJR岡山駅から徒歩3分の所にある路面電車の岡山駅から東山行きに乗車、城下駅で下車し徒歩5分弱の所に立地、会場は1,700名収容と申しぶんなく、ホールは1階・2階に分かれており、1階の収容人数は約700名。せめて1階を満席にしたいと考えている。閉会後は、同じルートで帰り、岡山駅直結の“ホテルグランヴィア岡山”で懇親会を行うと報告した。

#### **池原委員長**

会場へのアクセスは、案内に添付するようになっていないかと質問。

#### **藤井西日本統括リーダー**

案内パンフレットに、会場のURLを記載しているのに加え、フォーラム当日はアクセスのポイントとなる地点にメンバーを配置し案内するようにしていると答えた。

#### **池原委員長**

先回の臨時委員会後、日本ライオンズにMD336よりフォーラムの案内をどの様に発信するかという問合せがあり、執行理事会、臨時理事会で案内はMD336で作成し日本ライオンズに送付、日本ライオンズから8複合に、そして35準地区に発信するという事で承諾をえているがそれでOKかと尋ねた。

#### **藤井西日本統括リーダー**

そのように理解しており、すでに案内をMD336から社団のほうに送付、返事待ちとなっていると答えた。

#### **増澤専務理事**

案内に関し、11月15日に大阪で開催される理事会で承認を得た後発信する予定である。但し、参加者の集約については、MD336にお願いしたい。併せて登録料（参加費2,000円、懇親会費8,000円）について、MD336で単独の専用口座を作り管理してほしいと付け加えた。

#### **MD330増田委員**

案内は何時頃出していただけるか、当方としては出来るだけ早く出して欲しいと要望した。

#### **増澤専務理事**

社団としては、送付いただいている内容に問題なければ11月15日の理事会で決定し16日には発信できると答えた。

#### **木村東日本統括リーダー**

昨年仙台で開催した際も各クラブに案内が届くまでに3週間程度かかってしまった。11月16日に発信出来れば良いと思うが、全国フォーラムなので遅れないようにお願いしたいと要望した。

### 池原委員長

今話があった通り昨年は1月の執行理事会で案内についての話があり、タイミングとして遅いと感じた。本年は、執行理事会に於いて8複合の議長にしっかりと連絡、案内をアラートらしく速やかに議長より夫々のMD内地区に下ろすように徹底すると答えた。

### 増澤専務理事

事務局に連絡したところ、案内に瑕疵がなければ理事会翌日の11月16日に各MD宛一斉に配信する事が確認出来たと付け加えた。

### 池原委員長

若林委員長補佐がフォーラムの内容について説明したい旨述べたのを受け、池原委員長はフォーラムの内容について説明するよう求めた。

### 藤井西日本統括リーダー

フォーラムの内容について、昨年の仙台では青森、静岡の豪雨災害に関する事例発表を行ったが、今年は5年が経過した西日本豪雨災害について、ライオンズ関係、倉敷社協の事例発表、四国の大学生の取組み事例発表を考えている。併せて本年の秋田、岩手の豪雨災害について取り上げるか、或いは来年にするか、又、その他に取り上げるべき内容がないか意見を聞きたいと述べた。

### 若林委員長補佐

池原委員長が皆から意見を聞くように要望したため、若林委員長補佐は各委員を指名し意見を求めた。

### MD337高野委員

次年度災害が起こらないとも限らないので、今年度起こった災害は聞かせて頂きたいと思うので入れた方が良くと思うと述べた。

### MD336西尾委員

災害は起こった地域によって色々なケースがあると思うので、取り入れた方が良く思う。併せて専門家の意見も取り入れるべきだと述べた。

### MD334堀岡委員

入れたほうが良く思うと述べた。

### MD333中田委員

パソコンの調子が悪く今参加したばかりで質問の内容が不明、後ほどお話しすると述べた。

### MD331浅野委員

昨年行った仙台のフォーラムは素晴らしく、ビデオもインパクトがあった。フォーラムは全国が対象なので、全てを網羅すべきだと述べた。

### MD330増田委員

時間が許すのであれば、全国の多種多様な事例を見聞きたいのでよろしくお願ひしたいと述べた。

### 池原委員長

各委員の意見を総合すると、本年の秋田、岩手の豪雨災害について取り上げれば良いと思うので、皆さんの賛否を取ると述べた。

### 若林委員長補佐

全員賛成意見なので、藤井西日本統括リーダーは今まで各地で色々経験しているので、フォーラム内容の組み立ては、これまでの災害を出来るだけ多く取り入れる方向で検討する事としたいと述べ、全員がこれに賛成した。

## ②アラート委員会研修について

### 池原委員長

本件について、臨時アラート委員会でも話したが、佐々木統括リーダーの発案と言う事で、佐々木統括リーダーに説明を求めた。

### 佐々木統括リーダー

現在、東・西の各統括リーダーにお願いし、夫々3月（日程は未定）の各委員の都合の良い日に4MDごとに研修会を行うよう進めている。研修会開催の意図は、過去5～6年アラート委員会を開催してきた中で決まった事を見ると、東京・大阪・九州・東北と各地域によって対応がバラバラだと受援側も支援側も活動がやりにくいのではないかという事で、まず各地区から集まっている委員が意見を出し合い、決まった事の周知を図る事、周知は委員が複合に持って帰り、準地区の委員会、各クラブの皆様伝えて頂きたいという事で提案した。日程については両統括リーダーが皆様に連絡して決めると思うので協力をお願いしたい。又、研修会の対象は委員だけでなく、将来的に複合の委員長になる方としたいので、班長の方もお願いしたいと説明した。

### 若林委員長補佐

池原委員長が皆から意見を聞くように要望したため、若林委員長補佐は各委員を指名し意見を求めた。

### MD330増田委員

研修会の開催は大賛成だが、参加対象は委員長と班長に限られるのか？開催場所によっては多く動員したいが如何か、開催は東日本と西日本2箇所の開催となると質問した。

### 佐々木統括リーダー

社団の行う研修会なので、複合地区の委員長、班長を対象としている。その方が複合地区、準地区の皆様を対象とした研修会を開き周知するのが良いと考えている。又、開催地は東日本と西日本の4複合ずつ2箇所（対象者各8名）での開催を計画している。また、研修内容は社団のアラート委員会が出来て現在に至るまでの経緯を柿原シニアアドバイザーや坂本アドバイザーに協力をお願いしお話し頂くのに加え、研修内容は作成後に池原委員長、田名部理事長にチェックしていただいた後に、それらの資料を使って研修を行いたいと考えていると答えた。

### MD331浅野委員

研修を東と西に分けて行う事に何か意図があるか？私は皆が一堂に会して色々な話を聞ける方が良いと思うと意見を述べた。社協との締結状況などもお話いただけるとありがたい。

### 佐々木統括リーダー

研修は過去の事例ではなく、委員会としての方向性を意思統一する事、過去に決定した事の周知徹底を図るためのものなので、移動距離が短くなるよう東西に分けて行うよう計画。アラートは日本独自であり、国際協会から指針が示されるわけではないので、日本のアラート委員会はこう有るべきといった事も含め、東と西で実施内容は統一して行うことを予定していると答えた。なお今回は第1回目であるため、次回以降開催形式を変えていくことも考える。

### MD333中田委員

複合と日本ライオンズでは、アラートに対する考え方が微妙に違うと考えているので、統一する意味でもぜひ研修会を開いていただきたいと要望した。

#### **MD334堀岡委員**

ライオンズクラブは学ぶことが最優先。正確な学び、正しい情報、共有なくしてガバナンスは取れないと思うので、とにかく勉強しましょうと述べた。

#### **MD336西尾委員**

ライオンズのアラートとはこうあるべきというベクトルを統一する事は必要だと考えるので、ぜひ開催して頂きたいと述べた。

#### **MD337高野委員**

研修会を行う事は賛成だが、2月のフォーラムに続いて3月というのは少し性急。4月は年次大会等があるので5月位にと考えると希望を述べた。

#### **若林委員長補佐**

各委員から一通り意見を頂戴した。開催時期については池原委員長、統括リーダーで協議し決定いただきたいと述べた。

#### **池原委員長**

研修会の実施は前向きな提言で良い。アラートチームの委員の方はアラートに対する基本的な知識の醸成が必要であり、そういった意味で多種多様なアラートに対応するためにはライオンズ外の専門職を招聘し研修を行うのも一つの方法。アラートには多種多様な状況に応じた研修会が必要だと考えており、毎年新しい委員や班長が任命されてもアラートに対する基礎知識がないと対応が難しくなるので、災害時に十分に情報やノウハウを共有できる組織であることが大切だと思っている。次年度は新里副委員長が中心となって進めていくと思うがトップダウンではなく、今後についても最低限必要な事項についての研修を皆さんの意見を聞きながら進めて行かねばならないと述べた。

#### **佐々木統括リーダー**

池原委員長の発言に補足するとして、アラートは全社協や、地区の中でもガバナー協議会との連携が必要な組織である。研修は今後2回目、3回目と続くが、今回の研修内容は1回目であることから、委員会としてどう動くか、日本ライオンズとして、複合地区として、準地区としてどのように受援体制と支援体制を整えるかと言うことにスポットを当てた研修であり、個人のスキルの問題については考えていないので理解いただきたいと述べた。

#### **池原委員長**

皆さんの意見もくみ上げて、前向きに取り組んでいただきたい。

### **③アラート委員会運営規則改定に関する事項**

#### **池原委員長**

本件は継続している事項であり、組織図と運営規則がマッチしていない部分があるため佐々木・木村・藤井の3名を中心に少しずつ見直しを行っている状況である。細部に亘って見直しがあるので、この改定を今回の社員総会に間に合えばとは考えているが、無理に間に合わせるようあせってやることは考えていない。実際今の組織図は昨年度承認を得ておらずそのまま今期まで来ており、これを最終的に今期でしっかりとした組織図とそれに連動した運営規則にしなければならない。すべてについて承認をいただいたかたちでスタートできるようにしたい。最終的には改定しておくべき部分や新規に追加する部分について皆の意見を聞いた上、ベストなものにと仕上げたいと述べた。

#### **佐々木統括リーダー**

緊急アラート災害支援運営規則について、森川委員長時に20年12月の社員総会で承認されたはずが、社団の中では（案）としか残っておらず現在に至っている。修正削除しなければいけない項目、例えば、第3条5項、「対象とする災害は原則は国内を優先するが、東日本大震災において諸外国から多くの支援を受けた経緯を鑑み、国外においても理事会で必要と認めた場合支援対象とする。」についてこれは過去の議論の中で、35準地区のガバナーが決めれば良いことであり、アラート委員会が関わらないほうが良い、理由としてアラート委員会は日本独自の組織なのでガバナーたちの連携により議論をすすめていただければよいのではないかという考えでありこの項目は削除すると言った箇所を初め、削除・改正項目は私が見た中で少なくとも22箇所に入る。従ってこれを田名部理事長・池原委員長に見ていただき、執行理事会の中で論議していただき、内容が固まってから皆様に届くのが良いのではないかと池原委員長に提案し進めている。現在末尾には森川委員長の名前と日付が掲載されているが、出来れば3月末あたりを目途に理事会に通して頂き、社団のアラート委員会の中で理事会も社員総会も承認されたものを見ていただけるよう、12月～1月と作業を進めていく予定である。この様な日程で進める事で良いかと述べた。

又、池原委員長の組織図が言葉だけの説明では参加者に分かりにくいのではないかという発言に対し、組織図について、規約では委員長が指名するとなっているので問題ないと考えている。ただ、色々役職を設け、来期もその次も定番的に続けるのかどうか、毎年ガバナーチームでも新しい委員会を設けたりするのでその様にした方が良いという意見、或いはあまり役職者を増やさない方が良いという意見もあるので、全てを見直さなくても良いと思っていると佐々木リーダーより意見。

池原委員長より、現状の組織図と規約が一致していないことが問題であると発言。佐々木リーダーより、今期の役職の中には、柿原シニアアドバイザー、坂本・森川アドバイザーが、あまり人数が多くなってしまったということが入っていない。今期の委員長が来期のアドバイザーとして残ってもらうよう変えては如何かと言う提案があったので、その方向で作業を進めているので理解いただきたいと述べた。

#### 池原委員長

組織図等について引継ぎが出来ていない事は理解いただきたい。引継ぐためには、委員会だけでなく最終的に社員総会で承認されたものでなくてはならない。組織などについて不透明なまま引き継がれてしまっており、皆さんの意見を反映して、良いものにするということは絶対であり、きちんと引き継いでゆけるものにならなくてはならないと強調した。不透明な部分を改正し皆が納得できる組織図と運営規則にならなくてはならないという事を理解いただきたいと述べた。

#### 若林委員長補佐

池原委員長の考え方を基に各リーダーで調整をお願いしたいと本議題を結んだ。

#### ④その他

##### 池原委員長

皆様の方でその他意見があればお聞きしたいと述べ、無ければ新里アラート委員会副委員長に挨拶を頂きたいと述べた。

##### 若林委員長補佐

今日は複合を代表して委員の皆様に参加いただいているので、皆様から意見を賜



りたいとして、各委員を指名した。

#### **MD330増田委員**

東西に分けて研修を行うのは大変ありがたいこと。MD330でも単独での研修会開催を考えているので、佐々木・木村リーダーにお願いしたいと要望した。

#### **若林委員長補佐**

研修会の単独開催はウエルカムなので各リーダーに相談の上進めていただきたいと答えた。

#### **MD331浅野委員**

岡山でのフォーラムが成功裏に終わるよう願うのと同時に出来る限り協力したい。研修について、規則や決まった事等に加えて、実際に災害時現場で活動している木村リーダー等、現場での経験や苦勞などの話しも聞きたいと要望した。

#### **MD333中田委員**

先般、若林L、松本前議長にお願いしアラートセミナーを開催した。大変勉強になったが、日本ライオンズのアラート委員会で聞いた事とMD336の認識に多少のズレを感じたが、その事がMD333でも問題となっているので、それらを整合するためにも研修会で勉強したいと述べた。

#### **MD334堀岡委員**

災害についてMD330～MD337の認識はバラバラと感じている。その為、災害時に共通の認識を持ってもらうこと、加えてこれからのガバナーが、災害の規模を示すステージ1（クラブもしくはゾーン対応）、ステージ2（MDでの対応が必要）、ステージ3（阪神大震災・東日本大震災レベル）の各段階の認識、夫々の段階でどのように対応するかといった共通の認識を持ってもらうための研修であって欲しいと述べた。

#### **MD336西尾委員**

2月23日開催予定のアラートフォーラムの案内について11月15日開催の理事会で承認を頂く運びとなり、いよいよ本番に向けてスタートし、開催内容についても承認を頂いたので、現地実行委員長として実り多き大会となるよう努力するので宜しくお願いしたいと述べた。

#### **MD337高野委員**

岡山フォーラムの準備にあたって頂いている皆様に感謝いたします。研修会について、ガバナーが研修を受けなければ意味がないと思う。ガバナーと第1、第2、チームで研修を受ける、その為に少し時間を取って内容を考えていただきたいと要望した。

#### **池原委員長**

今回はMD336の班長、副班長、委員の方々にも参加いただいているので、夫々お話しを頂きたいとして発言をもとめた。

議長の発言を受け、会議へ参加した感想や、フォーラム開催へ向けて、地区でのアラート活動を通じて感じた点や取り組み、社協との協定や地区での体制作りの重要性など、出席のMD336班長、副班長、委員が夫々挨拶した。

#### **池原委員長**

アラートは何よりも結束が大切である。意見の相違もあるかもしれないが、お願いしていきたい。

### 佐々木統括リーダー

岡山アラートフォーラム組織図の主催委員会に記載が抜けていた田名部理事長について、仮で大会顧問と言う役職を充てているが如何かと諮ったところ同意を得たので、改めて組織図を作り直した上で関係者に配信するとした。

### 閉会挨拶

アラート委員会副委員長                      新里 正雄                      (沖縄LC)

今日は皆様お忙しい所、多くの方にご参加いただきました。又、日本ライオンズ田名部理事長、増澤専務理事にもご参加いただき有難うございました。統括リーダーの皆様にはご苦勞をお掛けしますがよろしく申し上げます。さて、2月23日開催のアラートフォーラムの内容が見えてきたが、後は周知徹底が肝要なので理事会で早期に承認いただき発信をお願いしたい。今後MD336の皆様にはフォーラムに向け宜しくをお願いしたい。佐々木統括リーダーからお話の合った研修会の開催は必要だと思っている。研修会を通して準地区での意思統一を図ること、その意味においてガバナーチームも加えての研修会は必要だと考えている。運営規則の改正についても小さな改善の積み重ねとはなるが、必要だと考えているので宜しくをお願いしたい。

今日は有難うございました。

議事録作成人  
MD336委員 西尾 慎一

(2023～2024 年度)

**第4回アラート全体会議および**

**第1回能登半島地震支援対策本部会議【WEB】議案要録**

◎日時：2024年1月22日(月) 14:00～16:30

◎システム：ZOOM システム

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

理事長	田名部 智之	(八戸 LC)
専務理事	増澤 義治	(諏訪湖 LC)
アラート委員会委員長	池原 堅	(福山久松 LC)
アラート委員会副委員長	新里 正雄	(沖縄 LC)
<u>オブザーバー</u>		
334-D 地区ガバナー	小出 進	(金沢兼六 LC)
ライオン誌日本語版委員会編集長	団 英男	(神戸みなと LC)
<u>日本ライオンズアラートチーム</u>		
統括リーダー	佐々木 健太	(大阪若獅子 LC)
東日本統括リーダー	木村 知紀	(青森 ZERO LC)
西日本統括リーダー	藤井 信英	(岡山みらい LC)
<u>アラート委員</u>		
MD330 委員	増田 正明	(東京田無 LC)
MD331 委員	浅野 敬一	(北見中央 LC)
MD332 委員	木田川 明弘	(仙台高砂 LC)
MD333 委員	中田 泰範	(新潟東 LC)
MD334 委員	堀岡 昭夫	(金沢東 LC)
MD335 アラートアドバイザー	平田 佳之	(大阪狭山 LC)
MD336 委員	西尾 慎一	(鳥取 LC)
MD337 委員	高野 裕子	(熊本平成 LC)
委員長補佐・MD333 アラート班長	若林 純也	(水戸葵 LC)
<u>アラート班長</u>		
MD330 班長	高橋 長正	(東京レスキュー LC)
MD332 班長	山下 里美	(山形アルカディア LC)
MD335 班長	中尾 斉	(摂津 LC)
MD336 班長	畑中 隆之	(岡山みらい LC)
MD337 班長	石永 扶佐夫	(武雄 LC)

司会進行：佐々木統括リーダー

- ・出席者の確認
- ・議事録作成人の指名  
西日本統括リーダー藤井信英・MD336 班長畑中隆之が指名された。
- ・前回議事録の確認  
全体会議としては一回目である、委員会議事録は先日送付の資料を確認願いたい。
- ・開会挨拶  
池原アラート委員会委員長より開会の挨拶。
- ・一般社団法人日本ライオンズ理事長ご挨拶  
田名部理事長よりご挨拶。
- ・議案：
  - ① 全国アラートフォーラム(岡山)開催直前情報
    - ・藤井西日本統括リーダー  
資料 A の次第、懇親会、フォーラム内容について説明。
  - ② 令和 6 年能登半島地震について
    - ・佐々木統括リーダー  
資料 B の能登半島地震被災地支援の関する書面の確認。
    - ・小出 334-D 地区ガバナー  
能登半島地震発生から現在の状況を報告。
    - ・団ライオン誌編集長  
ライオン誌、WEB マガジンへ掲載する能登半島地震被災地現状、支援活動などの情報提供を被災地地区より寄せて頂きたい旨のお願い。
    - ・小出 334-D 地区ガバナー  
被災地区ライオンの安否確認、動向、活動状況の報告。
    - ・被災地支援活動報告  
山下 MD332 班長、若林委員長補佐、木村東日本統括リーダーより報告。
    - ・池原委員長  
今後の支援を行う時期や内容、支援金に関する考えを小出 334-D 地区ガバナーに尋ねた。
    - ・小出 334-D 地区ガバナー  
334-D 地区災害対策本部で計画調整を進めている。  
被災地避難所への支援活動は堀岡 MD334 委員長を中心として進めている。  
今後現地入りするボランティア活動は事前に連絡があると調整しやすい。  
アラート委員会での統制を行ってもらうとありがたい。  
全国から支援金送付先の間合せに応じて 334-D 地区支援金口座を開設した。

募金活動、クラブからの資金等を送金頂ければありがたい。

多額の支援金は能登復興支援に活用して行きたい。今後のご協力をお願いしたい。

現状の情報提供は 334-D ホームページより発信する。

・池原委員長

被災地区ガバナー、担当委員、班長との連絡を密にして適確な情報提供を日本ライオンズに頂きたい、それを受けてアラート委員会は早急に会議を開催している。

全体として結束をしてアラートを前に進めて行きたい。情報を共有して対策を一日も早く復旧復興に向けて進むことが大事である。色々な面で必要な物があるが欠ける事なく進めていけるアラート委員会にして頂きたい。

・田名部理事長

日本ライオンズとアラート委員会が被災地区ガバナー、MD 委員長の要望のもとに情報を集めてしっかりと正しく進めていく事を条件に行ってほしい。

アラート委員会組織の指示命令系統の中で困っている皆さんへの支援には佐々木統括リーダーを中心として具体的に日時、内容、人数を確認し全国のアラートメンバーを動かして頂きたい。具体的日時、ニーズが分かれば日本ライオンズとしても動いていけるのではないか。

・佐々木統括リーダー

334-D 地区の発災からの動きを説明。

CtoC、クラブ合同での支援活動をスプレッドシートを活用し情報共有を行いたい。

能登半島地震支援について各委員に意見を求めた。

それをうけ各委員より、お見舞いと現在の支援活動について発言があった。

③ アラート委員会組織・運営規約改定について

④ 台風 19 号剰余金の活用について

・佐々木統括リーダー

・資料 C (組織図・緊急アラート災害支援運営規則) について説明。

・運営規約第 26 条から 28 条までのアラート委員会運営規約改定

について第 26 条に記載のある、台風 19 号支援金剰余金について、会計上は預り金約 680 万があり、アラート支援基金 (仮名) と変更して今後の災害支援に使える資金とするよう変更したい。

・池原委員長

・資料 C 組織図について補足説明。

・第 26 条剰余金について補足説明。

・佐々木統括リーダー

・異議、意見等求めたところ挙手がないため、本件は可決承認された。

・名目については執行理事会に一任する。

・増澤専務理事

- ・名称により使用が変わる、支援金と基金では違いがある、緊急で使用できる資金として理解をもとめ緊急時に正しく使えるような方向性をもった名称に協議する。
- ⑤ アラート研修会開催について
  - ・佐々木統括リーダー  
グループLINEで東西統括リーダーより案内をする。
  - ・閉会挨拶  
新里アラート委員会副委員長より閉会の挨拶。

以上

議事録作成

西日本統括リーダー  
MD 3 3 6 班長

藤井 信英  
畑中 隆之

# 2023-24年度ライオン誌日本語版委員会 第7回会議 報告書

日 時：2024年2月7日(水) 14:00～16:00

場 所：一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議システム・Zoom

出席者：国際理事	鶴嶋 浩二 (北海道・札幌中島ライオンズ㊤)
国際理事	城阪 勝喜 (大阪港ライオンズ㊤)
委員長	藤谷 文雄 (332複合地区／秋田県・大曲ライオンズ㊤)
編集長	団 英男 (335複合地区／兵庫県・神戸みなとライオンズ㊤)
委員	田中 明 (330複合地区／埼玉県・和光ライオンズ㊤)
委員	馬場 哲也 (331複合地区／北海道・函館東ライオンズ㊤)
委員 一般社団法人専務理事／PRマーケティング委員長／事務長	増澤 義治 (334複合地区／長野県・諏訪湖ライオンズ㊤)
委員	上田 隆政 (336複合地区／広島県・三原ライオンズ㊤)
ITアドバイザー	莊 英隆 (東京恵比寿ライオンズ㊤)
欠席者：国際理事	濱野 雅司 (埼玉県・岩槻ライオンズ㊤)
委員	三枝 久夫 (333複合地区／栃木県・佐野西ライオンズ㊤)
委員	渕野二三世 (337複合地区／大分ライオンズ㊤)
一般社団法人理事長	田名部智之 (青森県・八戸ライオンズ㊤)
一般社団法人常務理事 PRマーケティング副委員長	星野 勝美 (群馬県・太田ライオンズ㊤)



藤谷委員長による開会あいさつがあり、その中で「1月25日発行の印刷版冬号の掲載原稿についてさまざまな意見が寄せられており、今後熟慮していく必要がある」として、委員の協力を求めた。続いて鶴嶋、城阪両国際理事からあいさつがあり、委員長が言及した原稿について次の趣旨の発言があった。

鶴嶋国際理事：国際協会から補助金を受けて活動の普及を図るべきライオン誌に、個人の意見とはいえ協会を揶揄するような原稿が掲載されたことに大きな問題がある。これまで、国際理事はライオン誌の発行に対する責任はあるものの、編集に口をはさむことはないと言ってきたが、どうしてこのような投稿が掲載されたのか、今日の審議の中でこの原稿が掲載された経緯の説明を聞きたい。委員会でもよく議論して同じ轍を踏まないようにしてほしい。

城阪国際理事：会員を意欲付け、より良い方向へ向かうようにすることがライオン誌の役目である。国際理事は必要な時に注意を促すガードレールのような立場であり、編集内容に関してはライオン誌委員で十分に検討して良いライオン誌を作ってほしい。どのような考え方でこの原稿を掲載したのか説明してもらい、この先は同じようなことが起こらないようにしていかなければならない。

あいさつの後、出席者を確認し、藤谷委員長と団編集長の進行で議事に入った。

## 【議事】

### 1. ライオン誌日本語版の運営

#### ●2023年7～12月ライオン誌関係会計報告

社団の2023-24年度正味財産増減計算書を資料とし、ライオン誌関連科目を確認した。収入の部では12月に上半期の国際協会翻訳料30,000円（予算執行率25.0%）が入金された他、1月入金の上半期国際協会補助金11,519,062円（同53.1%）を未収入金として計上。支出の部では、12月は印刷版ライオン誌の発行はなかったため直接出版費は前月からほぼ変動はなく16,487,089円（同51.8%）だった。毎月発行のデジタル版関連費は6回発行完了時点で2,862,669円（同41.1%）だった。予算に沿って運営されていることを確認した。

#### ●国際本部からの翻訳料及び補助金

国際本部から12月に入金された翻訳料と、1月に入金された補助金の送金通知書を確認した。

#### ●2024-25年度ライオン誌事業計画案

委員会として次年度予算案を作成するため、ライオン誌の事業計画を検討した。発行回数は今年度と変わらず、印刷版年4回とすることを決定。予算案に事務費を含めるべきかを社団の専務理事である増澤委員に確認したところ、事務費は含めずにライオン誌の編集・印刷の費用のみの予算案作成を求められた。印刷・編集・発送の外注費の3社見積もりを取った上、4月委員会で予算案をまとめて社団へ提出する。

### 2. ウェブマガジン編集関係

#### ●2024年2月号（2月1日公開）出来

公開済みの2月号の出来を確認した。1月末に掲載を開始した「特集・能登半島地震」で被災地支援に取り組むクラブから寄せられた情報を掲載。また団編集長から、2月2～3日に石川県に入り輪島市門前町、能登町で支援活動の取材を行ったことが報告された。団編集長の取材レポート記事は委員会後、各委員が確認した後、掲載する。

#### ●2024年3～5月号更新予定(案)

3～5月号の主要コンテンツの内容を確認した。3、4月号の「取材レポート」を一部変更し、能登半島地震の被災地支援に関する記事を追加。今後の地区及



びクラブによる支援活動の情報を集め、可能な場合は委員による取材を行う。

3月号「日本ライオンズ情報」は全国アラートフォーラムの原稿を池原堅アラート委員長に依頼済み。

4月号「国際理事だより」は国際理事3人に原稿を依頼し、春季国際理事会の終了後、3月中を目処に提出をお願いします。

●「取材レポート」取材対象候補

「クラブアンケート」で収集した5～6月に実施予定のアクティビティのリストから、取材候補を協議した。候補に上がった活動の詳細情報の確認と取材対象の選定は、団編集長に一任する。

### 3. 印刷版編集関係

●2024年冬号(1月25日発行／81,100部)出来

1月25日発行の冬号の出来を確認した。冒頭あいさつでの両国際理事の求めを受け、獅子吼欄に投稿原稿「クラブの主権を考える」を掲載した経緯について団編集長、続いて藤谷委員長から、次の趣旨の説明があった。

団編集長：編集部が届いた当該の投稿原稿の内容を委員長と編集長で精査し、文中にかなりきつい言葉があるためそのまま掲載することは出来ないと判断。投稿者に対し、穏当な表現に書き換えることが出来れば掲載の可能性のある旨を編集部から連絡した。獅子吼の投稿はウェブマガジンにも掲載しているが、当該原稿については一般の人が閲覧出来るウェブでの公開は控えた方がよいと考え、掲載する場合には印刷版のみにすることを委員長と編集長で協議。その後、書き換え済み原稿をライオン誌委員へ送って確認を求めたところ、掲載に反対する意見はなかった。理事会方針書 第16章ライオン誌には『会員の意見は、それが必ずしも協会の立場を表すものでないことを明記することを条件に、手紙又は記事の形で載せることができる』とある。獅子吼は会員が自由に発言出来る場とすべきとの判断から掲載することとした。

藤谷委員長：掲載の経緯は団編集長の説明の通り。前回委員会の前に冬号記事を送っており、内容については了承を得たものと理解していた。国際理事への確認が不足していたことについて申し訳なく思っている。

続いて各委員がそれぞれの意見を述べ、以下のような意見があった。

「言葉の解釈の仕方は人によって異なるため、無難な形を探っていくしかない」

「掲載を拒否すればSNSなど他に波及する危険があり、掲載すればそれに対する批判もあって、判断が非常に難しい」

「こうした原稿を全て排除することにも問題があり、高度な判断が必要」

「今後、どのように掲載を判断するかしっかり考える必要がある」

委員が意見を述べた後、両国際理事から次の趣旨の発言があった。

鶴嶋国際理事：国際協会の補助金と会員の拠出金で発行する機関誌であることを鑑みると、掲載内容が国際協会の普及活動になるか、ならないかを第一に考えるべき。活字が暴力になることもある。個人の意見とはいえ、活字になったことの影響は大きく、この問題が拡散した時の責任の所在について委員会で考えてもらいたい。

城阪国際理事：会員の意見は何を載せてもよいというものではなく、ルールがあるべきで、この内容を掲載したことは遺憾。団編集長が触れた理事会方針書の項の前段には「公式版の編集者は、国際理事会、複合地区ガバナー協議会、又は地区キャビネットの方針に反する方針を支持してはならない」とあり、ライオン誌にそぐわない記事は責任を持って外すべき。どうしても載せるのであれば「国際協会の方針に反するものであるが、個人の意見である」という記載を入れる必要がある。

出席者の意見交換の後、団編集長から、委員によるしっかりとした議論とより慎重な判断をもって編集に当たることとし、今回の件については今後の状況を見ながら対応していきたいと述べた。これに対し鶴嶋国際理事から、各委員が説明出来るように現時点での委員会としての統一見解を示してはどうかとの助言があった。助言を受けて藤谷委員長が、団編集長と共に文書を作成して各委員に送ると応じた。

#### ●2024年春号(4月25日発行)台割(案)

前回検討した台割に「特集①能登半島地震被災地支援」を追加した修正案を確認した。国際協会配信「ミッション1.5」「国際理事だより：城阪国際理事」「編集室：団編集長、増澤委員」「特集②：小児がん」。

「ミッション1.5」の記事掲載に関して城阪国際理事から、国際協会配信の記事と共に、日本国内の進捗状況を伝える記事も掲載してはどうかとの提案があった。日本国内の活動も一緒に掲載出来るよう、2月15日に開催されるミッション1.5進捗報告会(愛知県名古屋市)の内容を取材するか、担当リーダーに原稿を依頼するか、いずれかの方法で記事を作成する。

## 4 主要記事予定

### ●2023-24年度主要記事予定

今年度の印刷版及びウェブマガジンの主要記事予定を確認した。

### ●2024年3～4月取材経費概算

3～4月に行う取材の経費概算を確認し承認した。

## 5. その他

### ●ServannA(サバンナ)関係

前回委員会の決定を受けて、日本情報サービス合同会社(旧・JPインターナショナル)から新しい会員種別「特典会員」をサバンナに反映させるための見積り(110,000円)を取った。その内容について荘ITアドバイザー

から説明を受け、機能を追加することを承認した。

●ライオン誌公式SNS

ライオン誌が運用している公式SNSの登録者数のデータを確認した。SNS登録者を増やすため、ライオン誌のSNS投稿に対して委員が自身のアカウントで反応するよう努める。

閉会あいさつ 藤谷委員長

**【次回開催予定】**

3月4日(月) 14:00～16:00 第8回会議 (Zoom)

# 2023-24年度ライオン誌日本語版委員会 第8回会議 報告書

日 時：2024年3月4日(月) 14:00～16:00

場 所：一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議システム・Zoom

出席者：国際理事	鶴嶋 浩二 (北海道・札幌中島ライオンズ㊤)
国際理事	濱野 雅司 (埼玉県・岩槻ライオンズ㊤)
国際理事	城阪 勝喜 (大阪港ライオンズ㊤)
委員長	藤谷 文雄 (332複合地区／秋田県・大曲ライオンズ㊤)
編集長	団 英男 (335複合地区／兵庫県・神戸みなとライオンズ㊤)
委員	田中 明 (330複合地区／埼玉県・和光ライオンズ㊤)
委員	三枝 久夫 (333複合地区／栃木県・佐野西ライオンズ㊤)
委員	増澤 義治 (334複合地区／長野県・諏訪湖ライオンズ㊤)
一般社団法人専務理事／PRマーケティング委員長／事務長	
委員	上田 隆政 (336複合地区／広島県・三原ライオンズ㊤)
委員	渕野二世 (337複合地区／大分ライオンズ㊤)
一般社団法人理事長	田名部智之 (青森県・八戸ライオンズ㊤)
一般社団法人常務理事 PRマーケティング副委員長	星野 勝美 (群馬県・太田ライオンズ㊤)
ITアドバイザー	荘 英隆 (東京恵比寿ライオンズ㊤)
欠席者：委員	馬場 哲也 (331複合地区／北海道・函館東ライオンズ㊤)



藤谷委員長から開会あいさつがあり、能登半島地震の被災地におけるライオンズクラブの支援活動は一部ではあるがウェブマガジンに掲載しており、多くの人に読んでほしいと述べた。また、前回委員会で鶴嶋、城阪両国際理事から指摘を受けた印刷版冬号「獅子吼」の投稿原稿に関して、これを掲載したことで両国際理事の心証を損なったことを謝罪した上、「ライオン誌編集においては理事会方針書第16章ライオン誌に『公式版の編集者は、国際理事会、複合地区ガバナー協議会、又は地区キャビネットの方針に反する方針を支持してはならない』という記載があり、私たちライオン誌日本語版委員会は理事会方針書に則って編集・発行に努めるべくご協力をお願いしたい。国際理事の皆様にはこれまで以上に、大所高所からのご指導をお願いしたい」と述べた。

続いて各国際理事からあいさつがあり、それぞれ次の趣旨の発言があった。

鶴嶋国際理事「今年度は残り3カ月となり、残る期間でやり残すことのないように励んでほしい」、濱野国際理事「ライオン誌の内容充実だけでなく、多くの人に読んでもうための施策やアイデアを出し合って読者数を増やしてほしい」、城阪国際理事「藤谷委員長から獅子吼に関する話があったが、これからはそのように編集をお願いした。今年度初めに委員長、編集長から預かった質問事項に対する回答が、公式版ライオン誌に関する権限を持つ国際本部の事務総長、マーケティング部長、法律部長から届き、現在翻訳を行っている。バンクーバー国際理事会終了後の4月中に次回のライオン誌検討委員会が開かれるかと思うので、その際に英語原文と日本語訳を提示したい」

田名部理事長からのあいさつでは、次の趣旨の発言があった。「前回委員会は欠席したが報告書を読み、また藤谷委員長から説明があった『獅子吼』の原稿に関しては国際理事から意見を伺っている。ライオン誌日本語版委員会は一般社団法人日本ライオンズの中の委員会ではあるが、編集については全て委員会に任せており、編集について口を出すことはこれからはないわけだが、編集方針のルールを外れてしまったことに対して社団としてどう対処するかという指摘もある。社団の執行理事会と理事会でこの件を審議し、さまざまな意見が出た。私としては社団として何かを罰するとか責任を取らせるということは避けたいが、再発防止のためには明確な措置を取らなければならない。これについてどのように始末をするか、藤谷委員長、団編集長と協議して速やかに手を打ちたい」

あいさつの後、出席者を確認し、藤谷委員長と団編集長の進行で議事に入った。

## 【議事】

### 1. ライオン誌日本語版の運営

#### ●2023年7月～2024年1月ライオン誌関係会計報告

社団の2023-24年度正味財産増減計算書を資料とし、ライオン誌関連科目を確認した。1月は印刷版ライオン誌が発行され、年間4回中3回の発行が完了した時点で直接出版費は24,347,765円（予算執行率76.6%）。毎月発行のデジタル版関連費は7回発行完了し3,137,729円（同45.1%）。ライオン誌委員会の旅費は1月に集合会議が開催されて285,000円（同45.2%）となった。予算に沿って運営されていることを確認した。

#### ●2024-25年度ライオン誌事業計画案

前回委員会で、次年度予算案を作成するために3社見積を取るようになったのを受け、委員による業者の推薦がないか確認。増澤委員から印刷会社への打診をしており見積要項書を作成してほしいとの発言があった。印刷及び発送に関する見積要項書を作成するよう事務局に指示した。

### 2. ウェブマガジン編集関係

#### ●2024年3月号（3月1日公開）出来

公開済みの3月号の出来を確認した。

●2024年4～5月号更新予定(案)

4～5月号の主要コンテンツの内容を確認した。5月号「編集室」（印刷版流用なし）の担当は渕野委員（337複合）の担当とすることを決定した。

●「取材レポート」取材対象候補

前回委員会での協議を踏まえ、4～5月実施予定の奉仕活動の中から団編集長が挙げた4件を6、7月号の取材候補とすることを決定。うち3件は日程が確定していないため、掲載号は開催日によって調整する。また、6月実施予定のアクティビティのリストを検討。取材候補とする奉仕活動は団編集長に一任する。

### 3. 印刷版編集関係

●2024年春号(4月25日発行)台割(案)

基本の編成に8ページ増やした44ページの台割案を確認した。「特集①能登半島地震」「ミッション1.5」(国際協会配信)「国際理事だより：城阪国際理事」「編集室：団編集長、増澤委員」「特集②：小児がん」。

国際協会から配信された「ミッション1.5」英語版を確認。記事は掲載必須、表紙は掲載推奨の指定となっている。掲載推奨の表紙を使うかどうか委員の意見を聞いた上、配信された表紙で編集作業を進めることにした。また、前回委員会で指定記事と併せて掲載することにした日本国内のミッション1.5進捗状況報告はオセアル調整事務局に手配を依頼済みで、報告原稿が届き次第、確認することとした。

### 4 主要記事予定

●2023-24年度主要記事予定

今年度の印刷版及びウェブマガジンの主要記事予定を確認した。

●2024年4～5月取材経費概算

ウェブマガジン6、7月号の取材候補とした奉仕活動4件の経費概算を確認し、承認した。

### 5. その他

●ライオン誌投稿欄(ウェブマガジン・印刷版)

前回委員会において、国際理事から印刷版冬号「獅子吼」に国際協会を批判する内容を含む投稿を掲載したことを問題視する意見が出たことを受けて、団編集長から2021-22年度ライオン誌日本語版委員会で策定した掲載ガイドラインに関する説明があった。ガイドラインでは他者への誹謗中傷や差別に当たるもの、営利目的の宣伝や勧誘に当たるもの、差別的表現など人を不快にさせる表現を含むもの、委員会が掲載に不適と判断したものを含む原稿・写真は掲載対象から除外することとしている。団編集長は、今後このガイドラインに沿って慎重に掲載可否を判断すると述べた。ま

た、印刷版春号からは「獅子吼」欄内に、掲載原稿は個人の意見であり、国際協会の立場を表すものではないこと、ライオン誌日本語版委員会がその内容を支持するものではないことを明記するとし、記載する文章については用意出来次第、各委員に確認してもらうとの説明があった。

これに関連し、現在「獅子吼」で掲載保留としている投稿原稿1点の掲載について協議した。団編集長から、原稿には個人の経歴に関する情報が含まれていることから慎重に判断したいとの説明があり、出席者に意見を求めた。投稿者の社会貢献活動に関する内容で掲載して問題ないとの意見が大半だった一方、「掲載により執筆者が傷つくような事態が生じる危惧もある」という意見や「個別の内容よりも掲載することが会員の意欲を高めるものであるかを基準に判断してはどうか」との示唆もあった。これらを踏まえ、更に情報を確認した上で判断することにした。

#### ●ウェブマガジンの改修

団編集長から、PDF配布に切り替えた「ライオンズクラブ入門」の注文フォームの削除や、ハッシュタグによる記事収集機能のキーワードなど、基幹部分で改修が必要な箇所があるとの報告があり、制作を担当した業者に見積を依頼することとした。

#### ●ServannA（サバンナ）関係

荘ITアドバイザーから、オセアル調整事務局へ問い合わせた懸案事項2件の経過報告と説明があった。

Lion Portal移行に伴うeMMRについては、大きな影響はないとの国際本部IT部長の回答ではあるが、技術担当者から回答が届くことになっている。また、新しい会員種別・特典会員の施行によるライオン誌発送対象の変更はないことを確認した。

サバンナへの特典会員（学生会員、レオライオン、若年成人会員）の項目追加については、前回承認された見積りで発注し近くテストが出来る見込み。

閉会あいさつ 藤谷委員長

#### 【次回開催予定】

- 4月 8日(月) 14:00～16:00 第9回会議 (Zoom)
- 5月 9日(木) 14:00～16:00 第10回会議 (Zoom)
- 6月13日(木) 14:00～16:30 第11回会議 (集合／日本ライオンズ事務所)

(報告第2号)

● 会員並びにクラブ活動状況報告集計表他

- ・ サバナナ基本集計表 2024年2月度
- ・ サバナナLCIF献金実施状況一覧 2024年2月度







# 審 議 事 項

## 【議案第 1 号】

### 地区ガバナーの選出について

2024～2025 年度 3 3 1 - B 地区ガバナー指名選挙には、第 5 R 第 1 Z 北見 L C 所属 L. 伊東隆志のみが立候補者届出書を提出し、第 3 回キャビネット会議にてこれを正式に受理しました。

資格審査の結果、国際協会規則の条件を全て満たしていると判断されました。

よって、第 7 0 回地区年次大会に次期地区ガバナー候補として、3 3 1 - B 地区年次大会議事規則（第 2 回キャビネット会議要録 議案第 3 号 1 1 7 頁）に基づき信任投票の実施を求めたい。

## 【議案第 2 号】

### 第 7 1 回地区年次大会開催地並びにホストクラブ

次期、地区年次大会は北見市で、ホストクラブは北見 L C、北見白樺 L C、紋別オホーツク L C、網走 L C、北見中央 L C、網走桂 L C、端野 L C より同意書が提出され、第 3 回キャビネット会議で承認されましたので計 7 クラブをホストクラブとして推薦したい。

## 【議案第 3 号】

### 第一副地区ガバナーの選出について

2024～2025 年度 3 3 1 - B 地区第一副地区ガバナー指名選挙には、第 1 R 第 1 Z 釧路みなと L C 所属 L. 大島尚久のみが立候補者届出書を提出し、第 3 回キャビネット会議にてこれを正式に受理しました。

資格審査の結果、国際協会規則の条件を全て満たしていると判断されました。

よって、第 7 0 回地区年次大会に次期第一副地区ガバナー候補として、3 3 1 - B 地区年次大会議事規則（第 2 回キャビネット会議要録 議案第 3 号 1 1 7 頁）に基づき信任投票の実施を求めたい。

## 【議案第4号】

### 第二副地区ガバナーの選出について

2024～2025年度331-B地区第二副地区ガバナー指名選挙には、第2R第2Z富良野所属L. 広瀬寛人のみが立候補者届出書を提出し、第3回キャビネット会議にてこれを正式に受理しました。

資格審査の結果、国際協会会則の条件を全て満たしていると判断されました。

よって、第70回地区年次大会に次期第二副地区ガバナー候補として、331-B地区年次大会議事規則（第2回キャビネット会議要録 議案第3号117頁）に基づき信任投票の実施を求めたい。

## 【議案第5号】

### 複合地区大会費改定（案）について

会員減少に伴う大会参加者数の減少と物価高騰により、現行の大会費（ひとり月額10円/年額120円）を、2024-2025年度より、月額20円/年額240円に改定したい。

現状は大会登録料の金額を増減する事により収支のバランスを取っているが、このままでは参加者、特に開催地の参加者の負担が増すばかりである。

よって、第70回地区年次大会に上程しご承認いただきたい。

## 第4回キャビネット会議 提出議案

●議案 1件

●提案 ありません。

●質問 ありません。

# 第4回キャビネット会議 提出議案

( 3 ) R ( 2 ) Z 帯広さくら ライオンズクラブ

2024年 3 月 9 日

会長名 高橋 好志子

## 【 ○議案 ・ 提案 ・ 質問 】

※いずれかに○をお付けください

(議 案)
キャビネット経費に関して、経費を削減し会費減額など、明確な目標をたてて進行してほしい。

(提出理由)
過去のキャビネットでは、新規購入したパソコンを含む備品費は、キャビネット閉鎖とともに処分され所在不明になっており、所在についていつもやむやな回答で終わっていました。しかしそれを解消するため帯広CABからは、購入した備品は翌々年のキャビネットに引き継いでいます。ただ、残念なことに、せっかく引き継いだPCが「パスワード不明で使用できず新しいものを購入」されたとの発表がありました。備品が移動しているのにかかわらず予算計上、そして例年と変わらない備品費が発生しています。購入できる予算があるから購入するのではSDGsにも大きく反することと考えます。会費減少は難しいと言われましたが実行レベルで会費を500円減らす為に、周知目標計画をたて、会員もそのことを理解し、進められることが必要なのではないのでしょうか？

1. 原文を1部キャビネット事務局に送付してください。
2. 貴クラブ用はコピーの上保管してください。
3. 用紙不足の際には、コピーの上使用してください。

# 参 考 资 料





# SWOT分析をしてみよう

## 「SWOT分析の目的と手法」

### 《目的》

「ミッション(MISSION) 1 . 5」会員増強目標と達成項目が発表され、331-B地区の目標は、純増 10 名です。・・・・参考資料 P.1～P.3

「SWOT 分析」は、クラブのマイナス面だけでなく、良好なクラブの現状を手本とし、目標達成までの道筋を模索するものであります。

### 《手法》

- ① 331-B 地区内 71 クラブを対象とします。
- ② 全てのライオンズメンバーに参加していただく事が基本ですが  
不可能な場合は、クラブ三役にて参加してください。

③ クラブ名を記入し、記入者名は、無記名とします。

④ 個人名は、一切記入しない事とします。

#### 《記入方法の説明》

① 内部環境および外部環境のプラス要因、マイナス要因の記入

記入方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・記入方法 P.1

記入のためのヒント・・・・・・・・・・・・・・・・・・参考資料 P.4～P.7

② 記入例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・記入用紙 P.1～P.4



## MISSION 1.5 会員増強目標と達成項目

2027年7月1日までに、ライオンズクラブ国際協会は  
全世界合計会員数150万人を達成する。

- ▶ すべての会則地域で、2026-2027年度までに会員純増を達成する。
- ▶ すべての地区で、新クラブを結成する
- ▶ MISSION 1.5期間中に、すべてのクラブが新会員を迎える。
- ▶ すべての地区は、女性、若手会員を含めより多様な会員を迎えるための戦略を策定する。



参考資料P.1

## なぜ会員拡大キャンペーンが必要なのか

- ▶ 奉仕活動を行うキャパシティ=能力を高める
- ▶ 多様性と組織の包容力を高める(ダイバーシティとインクルージョン)
- ▶ 活動範囲と影響力を広げる
- ▶ 会員であることのメリットを高める: 会員制組織として、より多い会員は、より幅広いネットワークの機会を会員に提供
  
- ▶ 現在は年間およそ5億人に奉仕活動を提供。年間10億人に奉仕する組織を目指す。



次の100年組織としての活力を維持し、奉仕を続けるため

参考資料P.2

## 2023-2024年度の日本のミッション

- 全日本での純増500達成する
- すべての地区で新クラブを1つ以上結成する
- 2027年までにすべてのクラブで新会員プラス1達成に向けて、自己分析と戦略を行う
- すべての地区で会員純増を達成するための新たな方針策定に向けて準備をはじめ



参考資料P.3

ビジョンを構築し、ニーズを調査し、目標を設定する(SWOT分析)

## 重点項目1(新会員増強)

～新会員を加えてクラブを若返らせる～

### 検討すべき質問

1. 会員増強につながるどのような機会が存在するか？
2. もっとうまく会員を勧誘するには何が必要か？
3. 私たちのクラブに人々が入会しないのはなぜか？
4. 私たちのクラブに人々が入会するのはなぜか？



参考資料P.4

ビジョンを構築し、ニーズを調査し、目標を設定する(SWOT分析)

## 重点項目2(クラブアクティビティの見直しと会員満足の向上)

～新たな奉仕の機会によってクラブの活性化を図る～

### 検討すべき質問

1. クラブの奉仕事業は現在の地域社会のニーズに適っているか？
2. 会員は熱意を持って積極的に奉仕事業に取り組んでいるか？
3. 奉仕の新たなアイデアについて、クラブのリーダーは会員の意見を受け入れているか？
4. 私たちの奉仕事業は新会員を呼び込んでいるか？



参考資料P.5

ビジョンを構築し、ニーズを調査し、目標を設定する(SWOT分析)

### 重点項目3(マンネリ化と退会防止)

～指導力育成とクラブ運営を向上させる～

#### 検討すべき質問

1. クラブ役員は各自の役職に関する研修に参加しているか？
2. 会員は役職に就くよう奨励されているか？
3. 会員はクラブの行事に毎回出席し、参加しているか？
4. クラブ例会の形式を見直す必要があるか？



参考資料P.6

ビジョンを構築し、ニーズを調査し、目標を設定する(SWOT分析)

### 重点項目4(マーケティング活動)

～クラブの成果を地域の人々に伝える～

#### 検討すべき質問

1. クラブはソーシャルメディア(フェイスブック、インスタグラム、ツイッター)を活用しているか？
2. クラブではEクラブハウスやウェブサイトを設けているか？
3. 一般の人々にどうやって行事の情報を伝えているか？
4. 入会を呼びかける歓迎のメッセージを含めているか？



参考資料P.7

ビジョンを構築し、ニーズを調査し、目標を設定する(SWOT分析)

※SWOT分析でクラブの状況を整理！

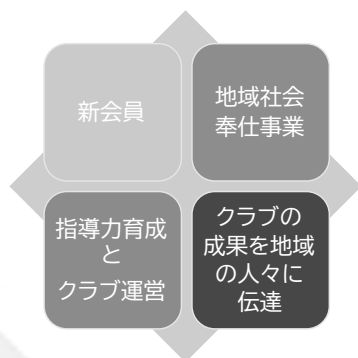
		プラス要因	マイナス要因		
		【強み】⇒自クラブの良い点	【弱み】⇒課題や改善点		
内部環境		ライオンズクラブの強み 個々の会員が持っている強み	ライオンズクラブの弱み 個々の会員が持っている弱み	➤ 強みを活かす	
				➤ 弱みを克服する	
外部環境		【機会】⇒ ライオンズクラブの組織以外で 機会となるもの	【脅威】 ライオンズクラブの組織以外で 脅威となるもの	➤ 機会を利用する	
				➤ 脅威の影響を最小限に抑える	

記入方法P.1

(4つの重点項目についてSWOT分析をしてみよう)

「強み」

それぞれの項目で、「現在どのような強みがあるか、または何がうまくいっているか」を考えてみよう！  
(プラスの要因は何か？)



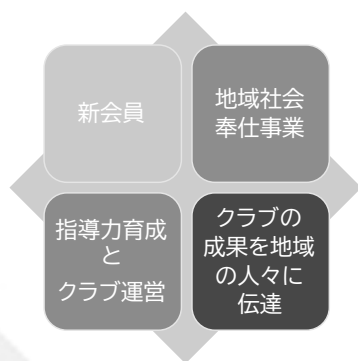
内部環境

- 昨年度は、3名、本年度は、2名の入会がありました。
- 少年野球大会、子ども未来文庫、十勝学園の餅つき等。
- 各委員長が、事務員任せではなく、役目を理解している。
- 奉仕活動の度に十勝毎日新聞に取材して頂いている。
- ゴルフ、麻雀同好会、野遊会等レクリエーションが、多い。

記入用紙P.1

## (4つの重点項目についてSWOT分析をしてみよう)

### 「弱み」



### 内部環境

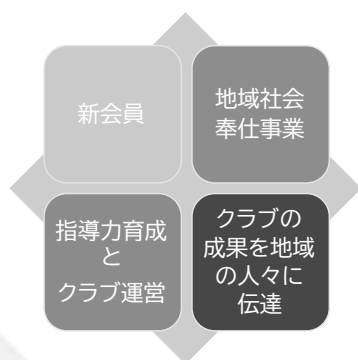
それぞれの項目で、「現在どのような弱みがあるか、またはどのようなことを改善できるか」を考えてみよう！（マイナスの要因は何か？）

- 新会員のスポンサーが、限られた人になっている。
- 収益のある奉仕事業等、新しいアイデアが必要である。
- 役職に就こうとしない人がいる。
- 地域の人々に伝達する手段を思いつかない。
- 

記入用紙P.2

## (4つの重点項目についてSWOT分析をしてみよう)

### 「機会」



### 外部環境

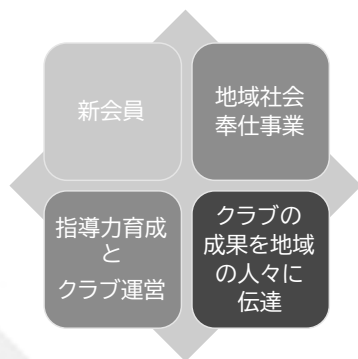
ライオンズクラブがボランティアを参加させることによって会員を勧誘し、奉仕の影響や印象を拡大する機会はどこにあるか？（貢献する環境は何か？）

- ボランティア団体の会員に入会の案内をする。
- 子ども食堂のボランティア団体と協同して奉仕をしている。
- 企画したレクレーションを通じて仲間意識と楽しさを感じる。
- マスコミに取材して頂く。
- 

記入用紙P.3

## (4つの重点項目についてSWOT分析をしてみよう)

### 「脅威」



### 外部環境



クラブの成功を左右しそうなこととして、クラブの外部で何が起きているか？(妨げとなる環境は何か？)

- ライオンズクラブのイメージが悪い。
- ボランティア団体との接触がない。
- 組織に興味がないので役職に就きたくない。
- 地域の人々に伝達する手段がない。
- 

記入用紙P.4







## 稚内キャビネット事務局

〒097-0022 稚内市中央4丁目15番16号 道北水産ビル1階

TEL 0162-73-3161 FAX 0162-73-3162

E-mail : [wlions331b@outlook.jp](mailto:wlions331b@outlook.jp)